



八千代市イメージキャラクター「やっち」

令和元年版

八千代市消防本部

は し が き

この令和元年版消防年報は、八千代市の消防現勢及び火災・救急活動等の消防事情を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実に資するものであります。

令和2年7月

八千代市消防本部

目 次

I 総務

1	八千代市の位置及び地勢	1
2	八千代市消防の沿革	2
3	消防概要	
(1)	消防組織	8
(2)	消防本部・署の配置及び施設一覧表	9
(3)	消防本部事務分掌	10
(4)	消防署事務分掌	12
(5)	市勢及び消防の推移	13
4	予算額及び決算額	
(1)	市一般会計予算と消防予算等	14
(2)	消防予算と人口・世帯数との比較	14
5	消防職員	
(1)	所属別職員数	15
(2)	年齢別職員数	16
(3)	在職年数別職員数	17
(4)	歴代消防長	18
6	消防職員教育訓練実施状況	
(1)	消防大学校教育	19
(2)	千葉県消防学校教育	19
(3)	救急救命東京・九州研修所	19
7	音楽隊の状況	
(1)	結成	20
(2)	階級別隊員数	20
(3)	活動状況	20
(4)	市民音楽隊員数	20
(5)	音楽隊楽器保有数	21

II 予 防

1 火災予防

(1) 月別建築同意件数	2 2
(2) 建築同意件数の推移	2 2
(3) 建築物用途別同意件数	2 3
(4) 用途別中高層防火対象物数	2 4
(5) 消防用設備等設置届受理件数	2 5
(6) 危険物施設数	2 6
(7) 地区別危険物施設数	2 7
(8) 地区別危険物施設数概略図	2 8
(9) 危険物施設の許認可申請等受理件数	2 9
(10) 危険物施設数の推移	3 0
(11) 火災予防条例等届受理件数	3 1
(12) 消防訓練届受理件数	3 2
(13) 所属別立入検査実施数	3 3

2 火災統計

(1) 火災状況	3 4
(2) 管理区域・地区別火災件数	3 5
(3) 月別火災件数	3 6
(4) 原因別火災件数	3 7
(5) 曜日別火災件数	3 8
(6) 火災件数前年比較	3 8
(7) 原因別火災の推移	3 9
(8) 時刻別火災の推移	4 0
(9) 全国・千葉県・八千代市の火災件数等の比較	4 1

III 警 防

1 消防施設・装備

(1) 消防本部・消防署車両配置状況	4 2
(2) 消防用車両一覧表	4 3

(3) 新設防火水槽	4 4
(4) 新設消火栓	4 4
(5) 消防水利の保有数	4 5
① 防火水槽保有数	4 5
② 年別防火水槽保有数	4 5
③ 消火栓保有数	4 6
④ 年別消火栓保有数	4 6

IV 指令

1 消防通信

(1) 通信系統図	4 7
(2) 出場指令件数	4 8
(3) 119番受理状況	4 8
(4) 気象状況	4 9
関連グラフ (気温)	5 0
(湿度)	5 0
(降雨量)	5 1
(風速)	5 1

V 救急・救助

1 救急統計

(1) 年別活動状況表	5 2
(2) 年別救急活動状況	5 3
① 事故種別出動件数	5 3
② 事故種別搬送人員	5 3
③ 男女別搬送人員	5 4
(3) 事故種別時間別出動件数	5 4
(4) 事故種別時間別搬送人員	5 5
(5) 事故種別年齢区分別搬送人員	5 6

(6) 事故種別傷病程度別搬送人員	5 6
(7) 年齢区分別傷病程度別搬送人員	5 7
(8) 事故種別不搬送理由別件数	5 7
(9) 現場到着所要時間別出動件数	5 8
(10) 収容所要時間別搬送人員	5 8
(11) 医療機関等へ収容するまでの間に救急隊員が行った応急処置数	5 9
(12) 不搬送件数のうち救急隊員が行った現場応急処置数	6 0
(13) 曜日別月別出動件数	6 1
(14) 曜日別月別搬送人員	6 2
(15) 発生場所別搬送人員	6 3
(16) 応急手当普及啓発活動実施状況	6 4
2 救助統計	
救助出動件数及び活動状況	6 5

VI 消防団

1 消防団概要

(1) 消防団配置図	6 6
(2) 消防団組織	6 7
(3) 区域別消防団員数及び施設設備配置表	6 8
(4) 年齢別消防団員数	6 9
(5) 在職年数別消防団員数	7 0
(6) 消防団員の報酬等	7 0
(7) 分団別消防自動車等の配置状況	7 1
(8) 分団別水利状況	7 2
(9) 分団別施設状況	7 3
(10) 消防団活動状況	7 4
① 回数	7 4
② 人員	7 4
(11) 歴代消防団長	7 5

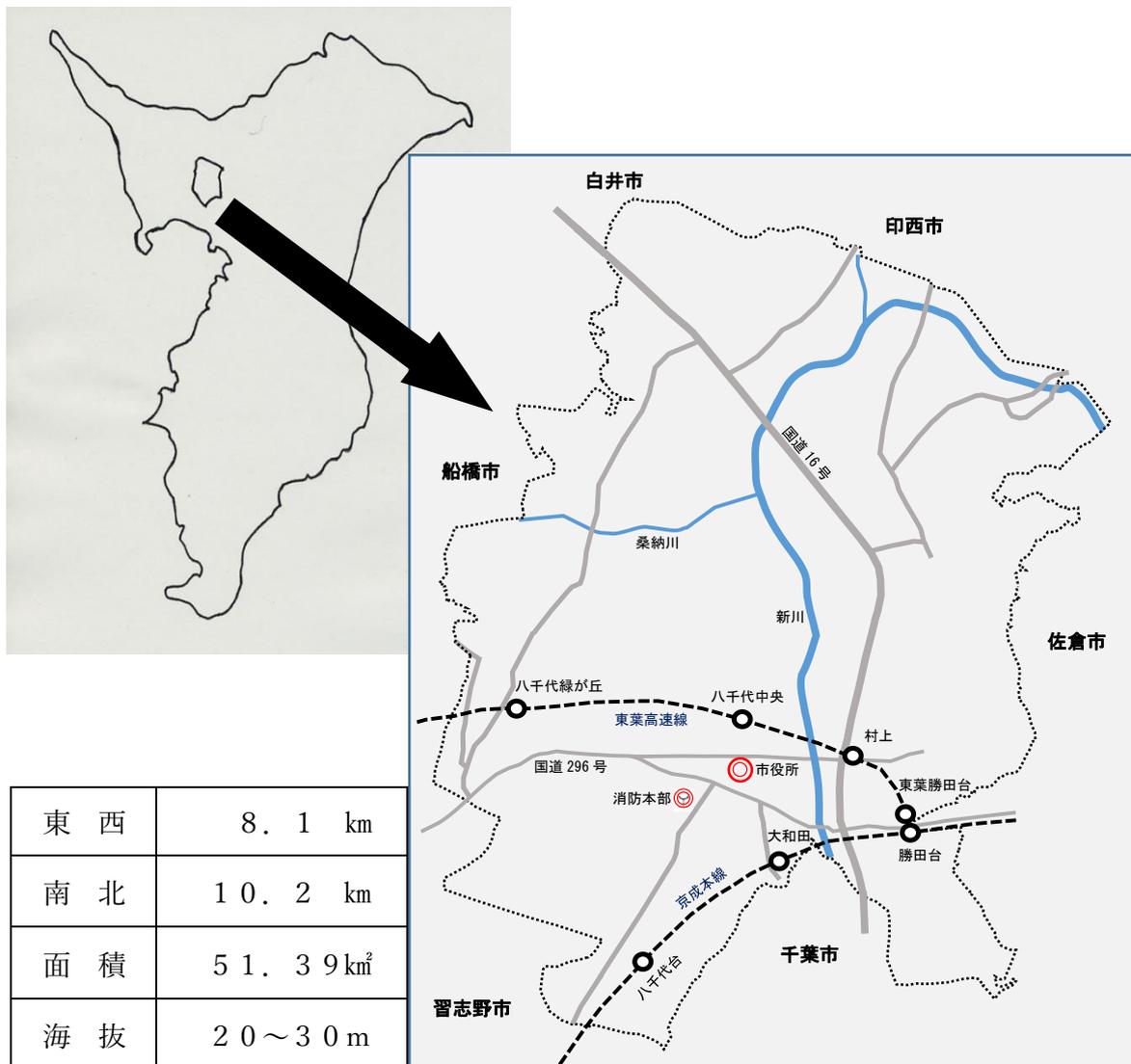
I 総務

1 八千代市の位置及び地勢

八千代市は、千葉県の北西部に位置し、南は千葉市、西は習志野市・船橋市、東は佐倉市、北は白井市・印西市と接し、首都東京から30キロ圏に位置している。

地形は、標高20メートル程度の丘陵にあって南北に長い矩形状をしており、市中央部を南北に印旛沼の疎水路である新川が流れている。

交通網としては、南部から北西部にかけて東京環状国道16号が走り、市の中心部を東西に東葉高速鉄道（八千代緑が丘、八千代中央、村上、東葉勝田台の4駅）が、また、南部には京成電鉄本線（八千代台、大和田、勝田台の3駅）が走っている。



2 八千代市消防の沿革

1954年	昭和29年 1月15日	大和田町と睦村が合併し、八千代町となり、消防団は21分団制となる。
1954年	昭和29年 9月 1日	阿蘇村を合併し、消防団は36分団制となる。
1955年	昭和30年 3月	消防団に千葉県知事より功労表彰旗が授与される。
1960年	昭和35年 3月	消防団に千葉県消防協会長より優良表彰旗が授与される。
1960年	昭和35年 3月16日	習志野市と消防相互応援協定を締結する。
1962年	昭和37年10月 1日	消防団を13分団2部制に改組する。
1964年	昭和39年 2月21日	消防団に日本消防協会長より竿頭綬が授与される。
1964年	昭和39年11月 1日	消防団常備部(定数15人)を設置、水槽付消防ポンプ自動車1台、部員8人をもって発足する。
1965年	昭和40年 4月 1日	消防団常備部の定数17人となる。
1965年	昭和40年 5月20日	救急業務に関する規則が公布され、即日施行となり、救急自動車1台を配置して救急業務を開始する。
1966年	昭和41年 1月 1日	消防団常備部の定数32人となる。
1966年	昭和41年 7月 1日	八千代台分遣所が竣工し、消防ポンプ自動車1台・部員6人をもって業務を開始する。
1967年	昭和42年 1月 1日	市制の施行により八千代市となる。
1967年	昭和42年 3月10日	消防団に千葉県知事より優秀表彰旗が授与される。
1967年	昭和42年 3月31日	八千代市消防本部及び消防署の設置等に関する条例が施行される。
1967年	昭和42年 4月 1日	政令指定により、消防本部、消防署、(定数41人)を設置し、消防ポンプ自動車2台、救急車1台、職員41人をもって発足する。
1967年	昭和42年 9月18日	超短波無線電話機(基地局1、移動局3、携帯局1)を整備し、無線業務を開始する。
1968年	昭和43年10月19日	消防署に気象観測器を設置、観測業務を開始する。
1969年	昭和44年 4月 1日	消防職員の定数55人となる。
1970年	昭和45年 2月20日	消防団に日本消防協会長より表彰旗が授与される。
1970年	昭和45年 3月10日	消防音楽隊が隊員18人をもって発足する。
1970年	昭和45年 4月 1日	消防職員の定数72人となる。
1970年	昭和45年 9月10日	船橋市と消防相互応援協定を締結する。
1970年	昭和45年11月 4日	消防署に化学車を配置する。
1970年	昭和45年12月14日	勝田台分遣所(鉄筋コンクリート造平屋建延べ173㎡)が竣工し、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員14人をもって業務を開始する。
1971年	昭和46年 4月 1日	消防職員の定数102人となる。
1972年	昭和47年 6月 4日	消防本部・署新庁舎(鉄筋コンクリート造3階建延べ1, 1

		56㎡) が竣工する。
1972年	昭和47年10月27日	八千代台分遣所新庁舎(鉄筋コンクリート造延べ140㎡)が竣工し開所する。
1972年	昭和47年12月13日	消防署にはしご付消防ポンプ自動車(30m級)を配置する。
1973年	昭和48年4月1日	消防職員の定数120人となる。
1974年	昭和49年3月1日	消防本部・消防団に消防庁長官より竿頭綬が授与される。
1974年	昭和49年4月1日	4週5休制(週休)を実施する。
1975年	昭和50年3月20日	消防署に屈折はしご付ポンプ自動車(16m級)を配置する。
1975年	昭和50年4月1日	消防職員の定数140人となる。
1975年	昭和50年7月1日	八千代市消防署組織規程を改正し、即日施行する。
1975年	昭和50年7月1日	米本分署(鉄筋コンクリート造2階建延べ403.5㎡)が竣工し、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ自動車1台、救急車1台、司令車1台、職員27人をもって業務を開始する。
1977年	昭和52年6月18日	消防署に救助艇(ヤマハ)を配置する。
1977年	昭和52年12月23日	消防本部に総合気象観測装置を設置する。
1978年	昭和53年4月1日	消防職員の定数150人となる。
1978年	昭和53年5月4日	消防本部に気象観測装置(温度・湿度計)を設置する。
1979年	昭和54年3月31日	八千代台東南分署(鉄筋コンクリート造2階建延べ399㎡)が竣工する。
1979年	昭和54年4月1日	消防職員の定数170人となる。
1979年	昭和54年4月1日	八千代台東南分署(水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、職員20人)での業務を開始する。
1979年	昭和54年5月31日	消防本部に気象観測装置(気圧計)を設置する。
1979年	昭和54年12月22日	消防署に救助工作車を配置する。
1980年	昭和55年4月1日	消防職員の定数176人となる。
1980年	昭和55年12月13日	大澤正春氏より防災像の寄贈を受け、除幕式を挙げる。
1981年	昭和56年1月23日	通信指令装置(B級)を新設する。
1981年	昭和56年3月23日	消防本部・署庁舎の増改築工事(増改築面積鉄筋コンクリート造延べ652.5㎡)が竣工する。
1982年	昭和57年4月1日	消防職員の定数180人となる。
1982年	昭和57年4月1日	八千代市消防団規則の一部を改正し、消防団に本部、方面隊を設置する。
1982年	昭和57年11月29日	八千代台東南分署にはしご付消防ポンプ自動車(30m級)を配置する。

1983年	昭和58年4月1日	消防職員の定数186人となる。
1984年	昭和59年2月2日	千葉県防災行政無線設備を設置する。
1985年	昭和60年3月25日	睦分遣所(鉄筋コンクリート造平屋建延べ487.09㎡)が竣工する。
1985年	昭和60年4月1日	消防職員の定数193人となる。
1985年	昭和60年4月1日	睦分遣所(水槽付消防ポンプ自動車1台, 救急車1台, 職員18人)での業務を開始する。
1985年	昭和60年11月1日	勝田台分遣所庁舎建て替え工事に伴い, 仮庁舎に移転する。
1987年	昭和62年1月20日	消防本部に消防業務用地図等検索装置を設置する。
1987年	昭和62年3月1日	勝田台市民文化プラザに勝田台分遣所新庁舎(鉄筋コンクリート造延べ480㎡)が竣工し, 移転する。
1987年	昭和62年12月24日	消防署にはしご付消防自動車(38m級)を配置する。
1988年	昭和63年3月24日	訓練塔(主塔, 鉄筋コンクリート造6階建延べ199.16㎡)・(副塔, 鉄筋コンクリート造2階建延べ60.58㎡)が竣工する。
1989年	平成元年4月9日	4週6休制(週休)実施となる。
1989年	平成元年8月12日	土曜閉庁実施となる。
1990年	平成2年3月22日	米本分署にはしご付消防自動車(30m級)を配置する。
1990年	平成2年4月1日	消防職員の定数198人となる。
1990年	平成2年5月30日	消防本部多目的庁舎(1階車庫・2階トレーニング室・延面積399㎡)が竣工する。
1991年	平成3年1月16日	消防署に小型動力ポンプ付水槽車(10㎡)を配置する。
1991年	平成3年3月19日	勝田台分遣所にはしご付消防自動車(38m級)を配置する。
1991年	平成3年4月1日	勝田台分遣所を勝田台分署に改める。
1992年	平成4年3月24日	救助工作車を更新し, 消防署に配置する。
1992年	平成4年4月1日	消防職員の定数200人となる。
1992年	平成4年5月25日	救急蘇生訓練用生体シミュレーターを整備し, 消防署に配置する。
1992年	平成4年8月6日	予防課に防災訓練車を配置する。
1993年	平成5年2月28日	完全週休2日制実施となる。
1993年	平成5年9月10日	岩井治郎氏から, 救急車(2B型)1台・司令車1台の寄贈を受け, 消防署・警防課に配置する。
1994年	平成6年3月28日	消防署に高規格救急自動車を配置する。
1994年	平成6年3月31日	消防緊急通信指令施設II型を更新, 同日運用を開始する。
1994年	平成6年4月1日	消防職員の定数210人となる。

1994年	平成 6年 7月 1日	救急救命士高規格救急自動車乗務を開始する。
1994年	平成 6年 9月 27日	消防訓練場用地(面積3,987.7m ² ・大和田新田183番1)を取得する。
1995年	平成 7年 4月 3日	消防緊急通信指令施設(自動出動指定装置)の運用を開始する。
1995年	平成 7年 6月 30日	患者監視装置等の救急資機材を整備し,運用を開始する。
1995年	平成 7年 7月 17日	太陽商運株式会社と「災害時における消火水の搬送に関する協定」を締結する。
1995年	平成 7年 11月 6日	耐震性防火水槽(100m ³)を八千代台西に設置する。
1996年	平成 8年 3月 6日	消防本部・消防団に消防庁長官より表彰旗が授与される。
1996年	平成 8年 10月 1日	八千代市消防本部消防職員委員会を設置する。
1996年	平成 8年 10月 1日	睦分遣所を睦分署に改める。
1997年	平成 9年 1月 7日	赤バイ隊を創設し,消防署に配置する。
1997年	平成 9年 4月 2日	山之内製薬から高規格救急自動車1台の寄贈を受け,米本分署に配置し,運用を開始する。
1998年	平成 10年 1月 31日	耐震性防火水槽(100m ³)を八千代台北に設置する。
1998年	平成 10年 4月 1日	組織改正により,中央消防署と東消防署の2署体制とする。(消防署を中央消防署・米本分署を東消防署・八千代台東南分署を八千代台分署に改める。)
1998年	平成 10年 4月 6日	八千代台分署と勝田台分署において,夜間・休日に住民票と戸籍の附票の取り次ぎ業務を開始する。
1998年	平成 10年 5月 1日	岩井武雄氏から赤バイ2台の寄贈を受け,勝田台分署に配置し,運用を開始する。
1999年	平成 11年 2月 24日	八千代市医師会と救急業務の円滑な推進を図るため,救急業務連絡協議会を設置する。
1999年	平成 11年 4月 1日	消防団第10分団2部を消防団第10分団1部と統合して消防団第10分団とし,消防団を13分団1部制に改組する。
1999年	平成 11年 4月 1日	消防団本部の定数を4人から17人に改める。
1999年	平成 11年 10月 1日	組織改正により,総務課を消防総務課に改める。
1999年	平成 11年 10月 1日	女性消防団員(7人)を採用し,団本部に配属する。
2000年	平成 12年 2月 20日	耐震性防火水槽(100m ³)を村上に設置する。
2000年	平成 12年 10月 1日	女性消防団員(6人)を採用し,団本部に配属する。
2001年	平成 13年 2月 5日	水槽付消防ポンプ自動車を八千代台分署に配置する。
2001年	平成 13年 8月 27日	消防本部庁舎耐震診断を実施する。
2001年	平成 13年 8月 31日	耐震性防火水槽(100m ³)を勝田台に設置する。

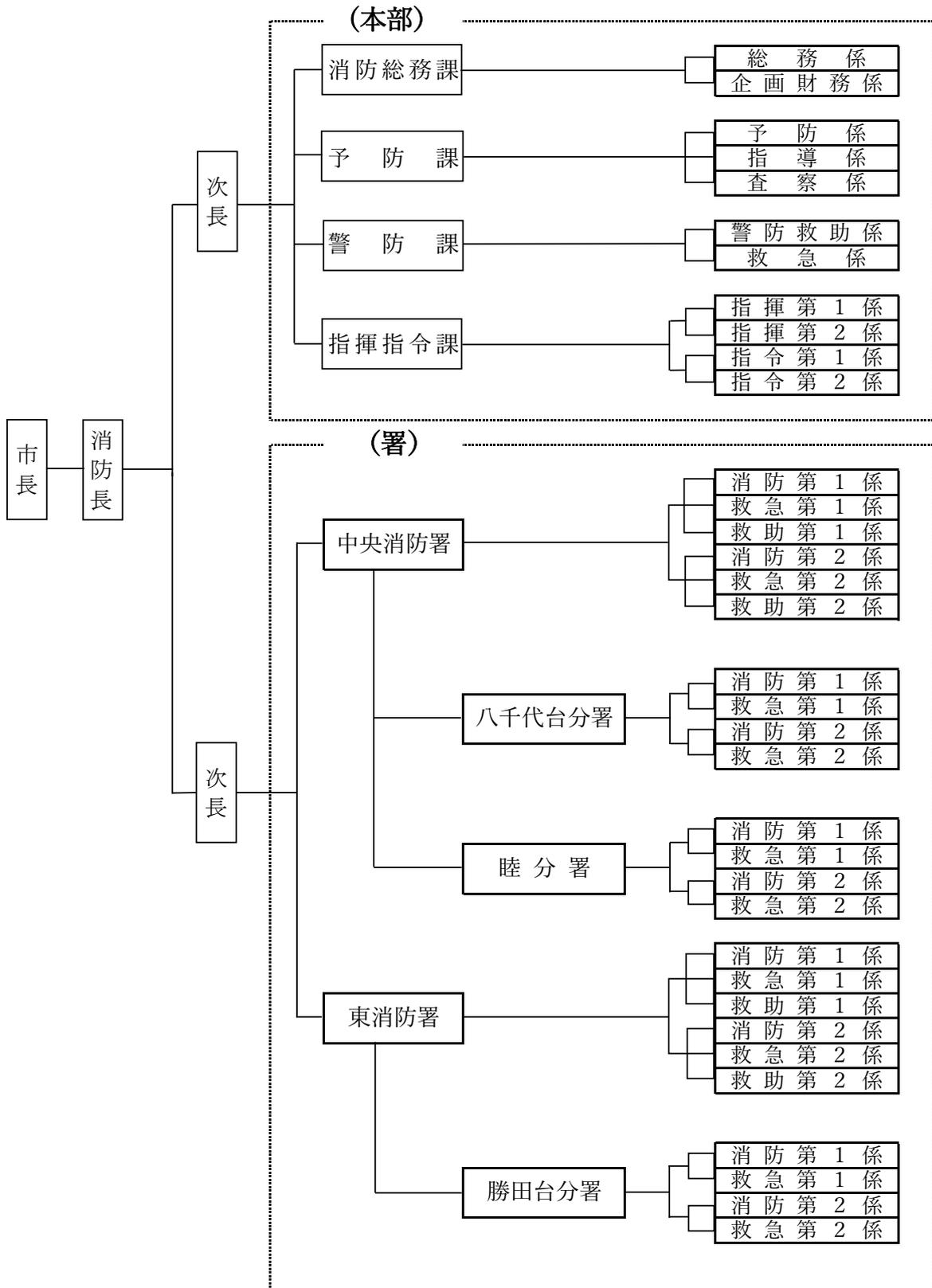
2002年	平成14年 1月15日	消防用無線基地局アンテナ用鉄塔を設置する。
2002年	平成14年 2月13日	災害対応特殊消防ポンプ自動車を八千代台分署に配置する。
2002年	平成14年 2月14日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を睦分署に配置する。
2003年	平成15年 1月30日	高規格救急自動車を八千代台分署に配置する。
2003年	平成15年11月28日	耐震性防火水槽（100m ³ ）を八千代台東に設置する。
2004年	平成16年 1月21日	高規格救急自動車を勝田台分署に配置する。
2005年	平成17年 2月23日	高規格救急自動車を更新し、中央消防署に配置する。
2005年	平成17年 3月16日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を勝田台分署に配置する。
2005年	平成17年 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車を更新し、中央消防署に配置する。
2006年	平成18年 4月 1日	組織改正により、指令課を新設する。
2007年	平成19年 2月22日	高規格救急自動車を更新し、東消防署に配置する。
2007年	平成19年 2月28日	救助工作車を更新し、中央消防署に配置する。
2007年	平成19年 3月15日	高機能消防指令センター（II型）が竣工する。
2007年	平成19年 3月26日	消防本部・中央消防署新庁舎での業務を開始する。
2007年	平成19年 3月26日	高機能消防指令センターの運用を開始する。
2007年	平成19年 4月16日	消防本部・中央消防署（鉄骨造「免震構造」3階建延べ4,299.32m ² ）が竣工する。
2007年	平成19年 8月31日	耐震性防火水槽（100m ³ ）を勝田台南小学校内に設置する
2007年	平成19年11月20日	高規格救急自動車を更新し、睦分署に配置する。
2007年	平成19年11月30日	市民訓練施設（鉄骨造2階建延べ252m ² ・鉄骨造平屋建延べ150m ² ）及び救助訓練施設（主塔、鉄骨造3階建延べ150m ² ・副塔、鉄骨造平屋建延べ20m ² ）が竣工する。
2007年	平成19年12月 5日	はしご付消防自動車（38m級）を更新し、中央消防署に配置する。
2009年	平成21年10月20日	普通消防ポンプ自動車を更新し、勝田台分署に配置する。
2009年	平成21年10月21日	指揮車を更新し、中央消防署に配置する。
2009年	平成21年11月20日	小型動力ポンプ付水槽車（10m ³ ）を更新し、中央消防署に配置する。
2009年	平成21年12月22日	はしご付消防自動車（30m級）を更新し、東消防署に配置する。
2010年	平成22年 4月 1日	聴覚障害者用メール119番受信システムの運用を開始する。
2011年	平成23年 2月28日	仲村定雄氏より消防旗の寄贈を受ける。
2011年	平成23年 3月11日	東日本大震災が発生する。（八千代市消防本部で震度5弱を

		観測)
2011年	平成23年 3月18日	東日本大震災による被災地(岩手県陸前高田市)に緊急消防援助隊として派遣する。
2011年	平成23年10月13日	耐震性防火水槽(100m ³)を南高津小学校内に設置する。
2012年	平成24年 3月 1日	勝田台分署に高規格救急自動車を配置する。
2012年	平成24年 4月 1日	消防団第12分団2部を消防団第12分団1部と統合して消防団第12分団とし、消防団を13分団制に改組する。
2012年	平成24年 4月 1日	団本部女性部の定数を13人から26人に改める。
2012年	平成24年 4月 1日	児童・生徒の防火・救命体験促進事業を開始する。
2012年	平成24年10月24日	高規格救急自動車を更新し、八千代台分署に配置する。
2013年	平成25年 4月 1日	千葉県消防救急無線広域化・共同化に係る全体計画に基づき消防救急デジタル無線を整備し、運用を開始する。
2014年	平成26年 2月 7日	高規格救急自動車を更新し、中央消防署に配置する。
2015年	平成27年 2月25日	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新し、東消防署に配置する。
2015年	平成27年 3月11日	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し、中央消防署・東消防署に配置する。
2015年	平成27年 9月 1日	消防団協力事業所表示制度を施行する。
2015年	平成27年12月 7日	八千代市消防音楽隊市民参加実施要領を施行する。
2015年	平成27年12月 7日	市民音楽隊員の登録を開始する。
2017年	平成29年 2月13日	高規格救急自動車を中央消防署に配置する。
2017年	平成29年 4月 1日	消防職員の定数230人となる。
2018年	平成30年 1月25日	高規格救急自動車を更新し、東消防署に配置する。
2018年	平成30年 3月22日	災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型・1300L水槽付)を更新し、八千代台分署に配置する。
2018年	平成30年 3月30日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を更新し、睦分署に配置する。
2019年	令和元年 9月27日	東消防署新庁舎(鉄筋コンクリート造2階建耐震耐火構造延べ1,634.79m ² ・救助訓練施設鉄骨造3階建延208.22m ²)が竣工する。
2020年	令和 2年 4月 1日	組織改正により、指令課を指揮指令課に改める。

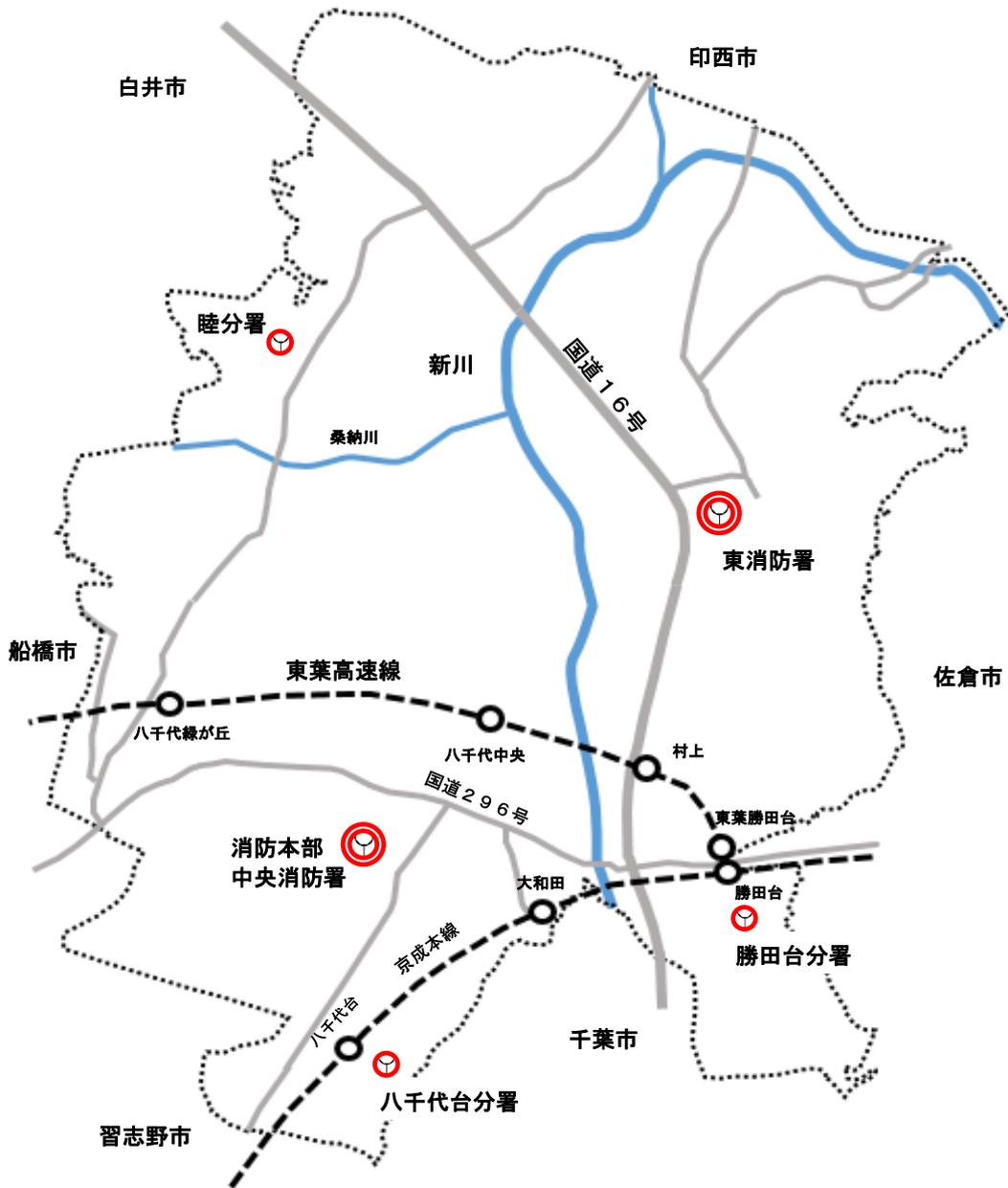
3 消防概要

(1) 消防組織

(令和2年4月1日現在)



(2) 消防本部・署の配置及び施設一覧表



種別 施設	所在地	敷地面積	構造	建築面積	延面積	竣工年月日
消防本部 中央消防署	大和田新田 186番地	m ² 8,270.66	鉄骨造 3階建	m ² 1,513.07	m ² 4,299.32	平成19年 4月16日
東消防署	米本 2,714番地1	m ² 4,981.25	鉄筋コンクリート 2階建	m ² 1,004.62	m ² 1,634.79	令和元年 9月27日
八千代台分署	八千代台東 1丁目17番1号	—	鉄筋コンクリート 合同庁舎内	—	m ² 399.00	昭和54年 3月31日
睦分署	島田台 766番地15	m ² 1,249.00	鉄筋コンクリート 平屋建	m ² 494.56	m ² 487.09	昭和60年 3月25日
勝田台分署	勝田台 2丁目5番1号	—	鉄筋コンクリート 合同庁舎内	—	m ² 480.00	昭和62年 3月1日

(3) 消防本部事務分掌

(令和2年4月1日現在)

課 名	事 務 分 掌
消防総務課	<ol style="list-style-type: none">1 本部内の連絡調整に関する事。2 消防業務の総合的企画及び調査に関する事。3 消防の組織に関する事。4 職員の人事に関する事。5 職員の研修及び福利厚生に関する事。6 文書及び法規に関する事。7 消防職員委員会に関する事。8 消防団に関する事。9 消防音楽隊に関する事。10 公務災害補償に関する事。11 公印の管理に関する事。12 予算、決算その他財務に関する事。13 国、県補助金に関する事。14 財産の維持管理に関する事。15 被服等の貸与に関する事。16 庶務に関する事。17 他の課に属さない事項。
予防課	<ol style="list-style-type: none">1 火災の予防対策に関する事。2 防火管理に関する事。3 火災の調査に関する事。4 火災予防上の諸届出の受理、調査及び指導に関する事。5 消防団体の指導及び育成に関する事。6 建築物の確認等の同意に関する事。7 消防用設備等の設置、指導、検査及び点検報告に関する事。8 防火対象物の使用開始に関する事。9 危険物の規制に関する事。10 液化石油ガスの意見書に関する事。11 圧縮アセチレンガス、液化石油ガス等の届出に関する事。12 消防対象物の予防査察に関する事。13 消防用設備及び防火管理業務等の違反処理に関する事。14 防火基準適合防火対象物の表示に関する事。15 庶務に関する事。

課 名	事 務 分 掌
警防課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防戦術の研究及び消防部隊の運用計画に関する事。 2 開発行為等に係る消防施設の指導に関する事。 3 火災警報等に関する事。 4 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。 5 救急救助業務の企画運営に関する事。 6 車両等の総合管理及び整備に関する事。 7 消防団の施設及び設備に関する事。 8 消防水利施設の整備に関する事。 9 水防事務組合に関する事。 10 道路工事届等に関する事。 11 救急医療機関等との連絡調整に関する事。 12 救急搬送証明に関する事。 13 市民の救急相談及び救急指導に関する事。 14 救急救助統計に関する事。 15 救急救助業務の高度化推進に関する事。 16 庶務に関する事。
指揮指令課	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防部隊の指揮、統制及び指揮支援に関する事。 2 消防部隊への命令、伝達及び指示に関する事。 3 消防部隊の現場活動訓練に関する事。 4 消防通信の調査研究及び計画に関する事。 5 火災、救急その他災害の通報の受付及び指令に関する事。 6 消防通信施設の管理及び運用に関する事。 7 救急関係医療機関の情報の収集及び市民に対する情報の提供に関する事。 8 災害情報の収集及び伝達に関する事。 9 気象観測及び気象情報の収集に関する事。 10 消防通信統計に関する事。 11 共同指令事務に関する事。 12 庶務に関する事。

(4) 消防署事務分掌

(令和2年4月1日現在)

課 名	事 務 分 掌
消防署	<ol style="list-style-type: none">1 水火災等の警戒, 防ぎょ及び鎮圧に関する事。2 救急救助業務に関する事。3 消防施設の運用及び保守管理に関する事。4 水利施設の調査及び保全に関する事。5 消防対象物の予防査察に関する事。6 職員の教養訓練に関する事。7 火災予防上の諸届出の受理及び指導に関する事。8 火災の原因及び損害の調査に関する事。9 公印の管理に関する事。10 署所の連絡調整に関する事。11 火災予防対策に関する事。12 庶務に関する事。
分署	<ol style="list-style-type: none">1 水火災等の警戒, 防ぎょ及び鎮圧に関する事。2 救急業務に関する事。3 消防施設の運用及び保守管理に関する事。4 水利施設の調査及び保全に関する事。5 消防対象物の予防査察に関する事。6 職員の教養訓練に関する事。7 火災予防上の諸届出の受理及び指導に関する事。8 火災の原因及び損害の調査に関する事。9 火災予防対策に関する事。10 庶務に関する事。

(5) 市勢及び消防の推移

(各年4月1日現在)

区分 年	面積 (km ²)	人 口			世帯数	人口 密度	本部 ・ 署所 の数	職 員		団 員	
		男	女	計				条例 定数	実数	条例 定数	実数
平成 25年	51.27	95,764	97,187	192,951	81,930	3,763	6	210	210	309	299
平成 26年	51.27	95,855	97,477	193,332	82,634	3,770	6	210	209	309	302
平成 27年	51.39	96,226	98,212	194,438	83,666	3,783	6	210	209	309	296
平成 28年	51.39	96,815	98,556	195,371	84,858	3,801	6	210	210	309	296
平成 29年	51.39	97,194	98,950	196,144	85,884	3,816	6	230	210	309	300
平成 30年	51.39	97,859	99,864	197,723	87,466	3,847	6	230	215	309	291
令和 元年	51.39	98,399	100,566	198,965	88,950	3,871	6	230	224	309	286
令和 2年	51.39	98,997	101,278	200,275	90,547	3,897	6	230	228	309	285

※ 人口密度は、1km²当りの数値で少数点以下切り捨て

※ 面積は、平成27年3月6日公表（今までよりも精度の高い計測方法で計測した結果、公表値が変更となったが、実際の面積は拡大していない。）

※ 人口・世帯数は各年3月31日現在

4 予算額及び決算額

(1) 市一般会計予算と消防予算等

(単位：円)

年度	区分	市一般会計	消防予算	比率 (%)
	平成28年度	予算	56,081,000,000	1,980,634,000
決算		55,310,459,155	1,976,984,290	3.6
平成29年度	予算	52,879,615,000	2,106,358,000	4.0
	決算	53,332,816,514	2,152,658,868	4.0
平成30年度	予算	55,538,000,000	2,734,570,000	4.9
	決算	54,852,222,752	2,155,351,957	3.9
令和元年度	予算	56,850,000,000	2,904,357,000	5.1
	決算	59,732,565,778	3,094,816,088	5.2
令和2年度	予算	58,250,000,000	2,079,861,000	3.6
	決算	—	—	—

※ 予算は当初予算

(2) 消防予算と人口・世帯数との比較

(各年度4月1日現在)

年度	区分	消防予算 (千円)	人口 (人)	世帯数	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成28年度		1,980,634	195,371	84,858	10,138	23,341
平成29年度		2,106,358	196,144	85,884	10,739	24,526
平成30年度		2,734,570	197,723	87,466	13,830	31,264
令和元年度		2,904,357	198,965	88,950	14,597	32,652
令和2年度		2,079,861	200,275	90,547	10,385	22,970

※ 予算は当初予算

5 消防職員

(1) 所属別職員数

(令和2年4月1日現在)

区分	階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	再任用職員	再任用含む計
条例定数										230		
実数合計		1	4	8	60	44	44		67	228	16	244
	うち女性			1		2	1		4	8		8
消防本部	消防長	1								1		1
	次長		2							2		2
	消防総務課			1	3	3	1			8		8
	うち女性						1			1		1
	予防課			2	4	5	1			12	4	16
	うち女性			1		1				2		2
	警防課			2	3	2				7	3	10
	うち女性											
	指揮指令課			1	12	5	4			22	5	27
	うち女性											
消防本部 計		1	2	6	22	15	6			52	12	64
	うち女性			1		1	1			3		3
消防署	中央消防署 計		1	1	23	20	22		35	102	2	104
	中央消防署		1	1	11	12	13		19	57	2	59
	うち女性					1			2	3		3
	八千代台分署				6	4	4		13	27		27
	睦分署				6	4	5		3	18		18
	東消防署 計		1	1	15	9	16		32	74	2	76
	東消防署		1	1	9	7	7		22	47	2	49
	うち女性								2	2		2
	勝田台分署				6	2	9		10	27		27
	消防署 計		2	2	38	29	38		67	176	4	180
	うち女性					1		4	5		5	

(2) 年齢別職員数

(令和2年4月1日現在)

階級 年齢	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	再任用 職員
18歳								2	2	
19歳								3	3	
20歳								7	7	
21歳								8	8	
22歳								10	10	
23歳								14	14	
24歳								7	7	
25歳						5		8	13	
26歳						11		3	14	
27歳						6		3	9	
28歳						8		2	10	
29歳						6			6	
30歳					1	3			4	
31歳					4	2			6	
32歳					2	1			3	
33歳					3	2			5	
34歳					7				7	
35歳					6				6	
36歳					4				4	
37歳					2				2	
38歳					2				2	
39歳					2				2	
40歳				2	2				4	
41歳				4	1				5	
42歳				5	1				6	
43歳				1	1				2	
44歳				3					3	
45歳				3					3	
46歳				4	1				5	
47歳				3					3	
48歳				4					4	
49歳				4					4	
50歳				5					5	
51歳				3					3	
52歳				2					2	
53歳			2	2					4	
54歳					1				1	
55歳		1		3	1				5	
56歳			3	5					8	
57歳			1	3					4	
58歳	1		2		1				4	
59歳		3		4	2				9	
60歳										2
61歳										4
62歳										4
63歳										3
64歳										3
計	1	4	8	60	44	44		67	228	16
再任用職員を含めた職員数										244

※ 平均年齢は 35.5歳 (再任用職員を含めた平均年齢は 37.3歳)

(3) 在職年数別職員数

(令和2年4月1日現在)

階級 年数	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計	再任用 職員
1年未満			1					11	12	2
1年								18	18	4
2年								15	15	4
3年						5		7	12	3
4年						4		9	13	3
5年						7		3	10	
6年						7		3	10	
7年						10		1	11	
8年					3	2			5	
9年					3	2			5	
10年					1	2			3	
11年					3	5			8	
12年					4				4	
13年					8				8	
14年					1				1	
15年					9				9	
16年					1				1	
17年				2	1				3	
18年				3	3				6	
19年				1					1	
20年				3					3	
21年										
22年				1					1	
23年				2					2	
24年				7					7	
25年				3	1				4	
26年				6					6	
27年				2					2	
28年				2	1				3	
29年				1					1	
30年				4	1				5	
31年										
32年				2					2	
33年				2					2	
34年				2					2	
35年			1	4	1				6	
36年										
37年		1	1	2					4	
38年			2	4					6	
39年			2	3					5	
40年	1		1		1				3	
41年		3		4	2				9	
計	1	4	8	60	44	44		67	228	16
再任用職員を含めた職員数										244

(4) 歴代消防長

(令和2年4月1日現在)

	階 級	氏 名	在 職 期 間
初代	司令長	兼子 通純	昭和42年 4月 1日 ~ 昭和42年 5月30日
2代	司令長	清宮 親之	昭和42年 5月31日 ~ 昭和44年 3月31日
3代	消防監	花沢 義雄	昭和44年 4月21日 ~ 昭和49年 9月30日
4代	消防監	斉藤 治夫	昭和49年10月 1日 ~ 昭和58年 3月31日
5代	消防監	根岸 輝夫	昭和58年 4月 1日 ~ 昭和62年 3月31日
6代	消防監	大塚 昇吉	昭和62年 4月 1日 ~ 平成 3年 3月31日
7代	消防正監	知脇 正道	平成 3年 4月 1日 ~ 平成 7年 1月20日
8代	消防正監	仲村 定雄	平成 7年 1月21日 ~ 平成10年 3月31日
9代	消防正監	村越 利光	平成10年 4月 1日 ~ 平成12年 3月31日
10代	消防正監	檜山 孝吉	平成12年 4月 1日 ~ 平成14年 3月31日
11代	消防正監	伊藤 宏一	平成14年 4月 1日 ~ 平成16年 3月31日
12代	消防正監	神垣 升	平成16年 4月 1日 ~ 平成18年 3月31日
13代	消防正監	武藤 博明	平成18年 4月 1日 ~ 平成21年 3月31日
14代	消防正監	豊田 和明	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
15代	消防正監	常岡 正良	平成22年 4月 1日 ~ 平成23年 3月31日
16代	消防正監	染谷 正博	平成23年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日
17代	消防正監	岩井 精一	平成25年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日
18代	消防正監	椎名 次夫	平成27年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日
19代	消防正監	小澤 義昭	平成29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
20代	消防正監	関口 一博	令和 2年 4月 1日 ~ 現在

6 消防職員教育訓練実施状況

(1) 消防大学校教育

(令和元年度)

区 分	教育日数	研修人員
幹部科	47日	1

(2) 千葉県消防学校教育

(令和元年度)

区 分	教育日数	研修人員
初任科	111日	17
救急科	41日	6
救助科	23日	2
訓練指導科	10日	1
特殊災害科	10日	1
中級幹部科	8日	1
予防査察科	11日	1
火災調査科	13日	1
はしご自動車等講習会	4日	1
警防科	11日	1
危険物科	6日	1
水難救助科	5日	1
高度救助科	10日	2
救急救命士処置拡大2行為追加講習	5日	3
気管挿管認定救命士再教育	2日	1
合 計		40

(3) 救急救命東京・九州研修所

(令和元年度)

区 分	教育日数	研修人員
救急救命士新規養成課程（東京）	111日	1
指導救命士養成課程（九州）	30日	1
合 計		2

7 音楽隊の状況

(1) 結成

結成年月日 昭和45年3月10日

発足時の隊員数 18人

(2) 階級別隊員数

(令和2年4月1日現在)

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	計
人数		5	7	4	4	20

(3) 活動状況

(令和元年度)

区分	消防行事	市行事	その他	計
回数	4	1	3	8

(4) 市民音楽隊員数

(令和2年4月1日現在)

性別	男性	女性	計
人数	18	18	36

※平成27年12月7日市民音楽隊員の登録を開始する。

(5) 音楽隊楽器保有数

(令和2年4月1日現在)

	楽器名	保有数
1	ピッコロ	3
2	フルート	3
3	オーボエ	1
4	ファゴット	1
5	クラリネット	9
6	アルトサクソ	4
7	テナーサクソ	3
8	バリトンサクソ	1
9	ホルン	4
10	トランペット	7
11	トロンボーン	5
12	ユーホニウム	4
13	チューバ	3
14	エレキベース	1
15	パーカッション	7

II 予防

1 火災予防

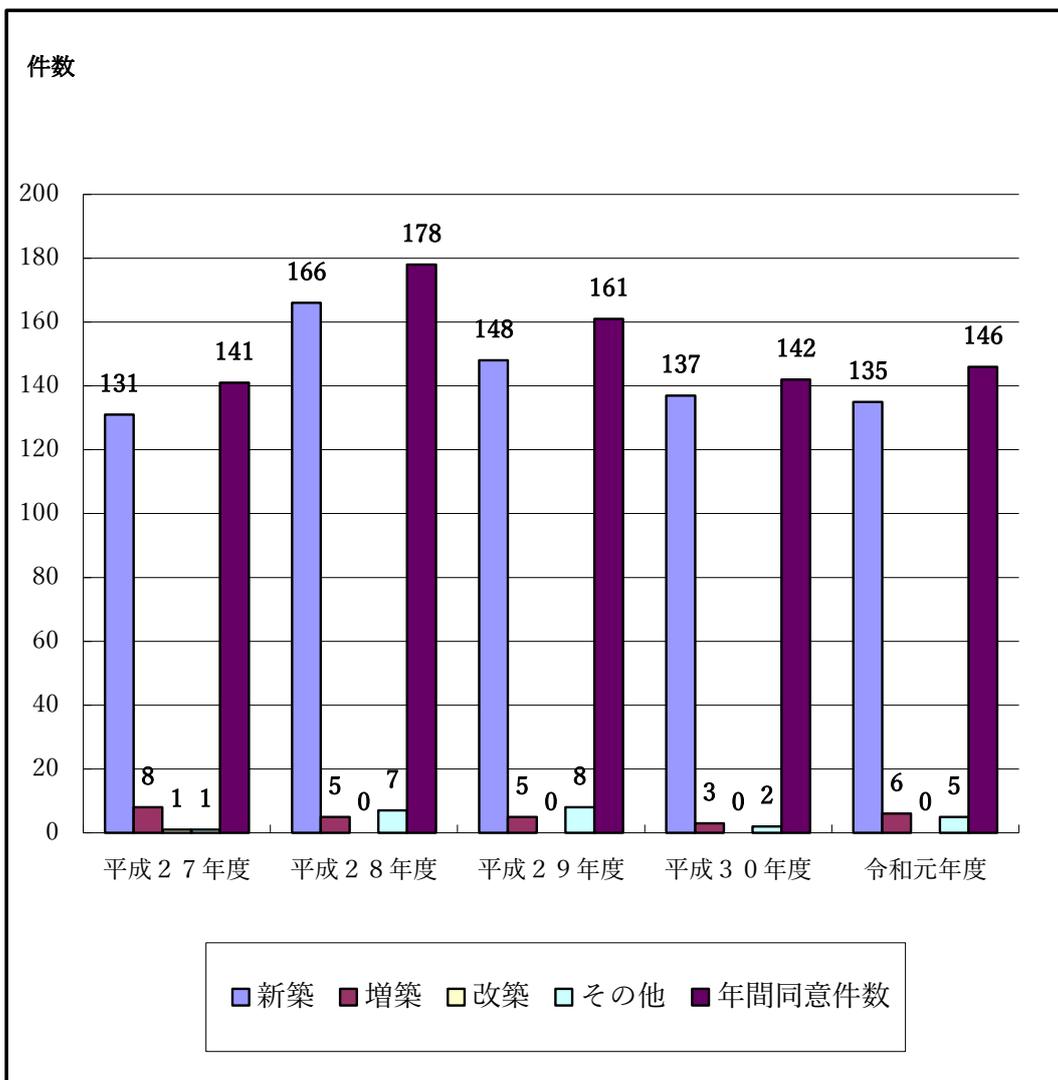
(1) 月別建築同意件数

(令和元年度)

区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新築	6	12	16	23	9	7	10	14	7	11	6	14	135	
増築			2		2			2					6	
改築														
その他	2	2				1							5	
計	8	14	18	23	11	8	10	16	7	11	6	14	146	

(2) 建築同意件数の推移

(年度統計)



(3) 建築物用途別同意件数

(令和元年度)

区 分		月 別												計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(1)	イ	劇場・観覧場														
	ロ	公会堂・集会場						1						1		
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ														
	ロ	遊技場・ダンスホール														
	ハ	風俗営業等														
(3)	イ	待合・料理店														
	ロ	飲食店									1			1		
(4)		百貨店・マーケット等	1		1									2		
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所														
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	2	3	2	4	2	1	2	2	1	1	1	3		
(6)	イ	(1)	病院			1									1	
		(2)	診療所													
		(3)	病院[6イ(1)を除く] 診療所[6イ(2)を除く]・助産院													
		(4)	診療所[入院施設なし] 助産院[入所施設なし]	1									1	2	4	
		(5)	養護老人ホーム等			1	1		1					1	4	
	ロ	(2)	救護施設													
		(3)	乳児院													
		(4)	障害児入所施設													
		(5)	障害者支援施設等													
		(6)	老人デイサービスセンター等													
	ハ	(2)	更生施設													
		(3)	助産施設・保育所等		2		1					1	1		5	
		(4)	児童発達支援センター等													
		(5)	身体障害者福祉センター等				1								1	
		(7)	幼稚園・特別支援学校													
(7)	学校(小・中・高等)大学・各種学校							1						1		
(8)	図書館・美術館															
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
(10)		車両の停車場・航空機の発着場								1				1		
(11)		神社・教会等														
(12)	イ	工場・作業場				1	2		1				2	6		
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								1				1		
(13)	イ	自動車車庫・駐車場														
	ロ	飛行機の格納庫														
(14)		倉庫	1		2		1	1	2	1	1	2	1	12		
(15)		前各項に該当しない事業場		2			3	1	1	2		1		10		
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途 防火対象物	1	2	1	1	1	1		1		1		9		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			1					1	1			3		
(16の2)		地下街														
(16の3)		準地下街														
(17)		文化財														
(18)		延長50m以上のアーケード														
許可申請			1		1									2		
工作物																
昇降機																
その他(150㎡未満の専用住宅以外の建物)				3	2	4							3	12		
専用住宅			1	2	6	10	2	3	2	7	3	3	2	5		
計			8	14	18	23	11	8	10	16	7	11	6	14		

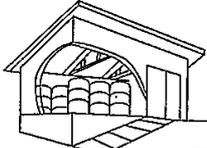
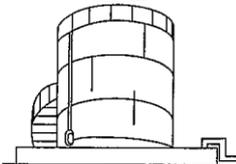
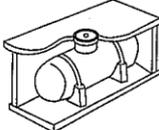
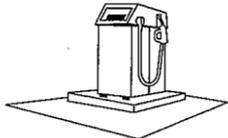
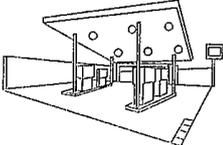
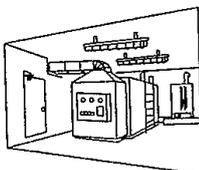
(5) 消防用設備等設置届受理件数

(令和元年度)

種 類	区 分	件 数
消火設備	消火器	91
	屋内消火栓設備	10
	スプリンクラー設備	15
	水噴霧消火設備	
	泡消火設備	2
	不活性ガス消火設備	
	ハロゲン化物消火設備	
	粉末消火設備	3
	屋外消火栓設備	4
	動力消防ポンプ設備	
警報設備	自動火災報知設備	170
	ガス漏れ火災警報設備	
	漏電火災警報器	
	消防機関へ通報する火災報知設備	12
	非常警報設備	45
避難設備	避難器具	25
	誘導灯等	103
消防用水	消防用水	3
消火活動上必要な施設	排煙設備	1
	連結散水設備	1
	連結送水管	2
	非常コンセント設備	2
	無線通信補助設備	1
合 計		490

(6) 危険物施設数 (323施設)

(令和2年4月1日現在)

製造所			7 件	
	貯蔵所	屋内貯蔵所		51 件
		屋外タンク貯蔵所		54 件
屋内タンク貯蔵所			0 件	
地下タンク貯蔵所			58 件	
簡易タンク貯蔵所			1 件	
移動タンク貯蔵所			43 件	
取扱所	屋外貯蔵所		28 件	
	給油取扱所		35 件	
	販売取扱所		1 件	
	一般取扱所		45 件	

(東京法令出版(株)危険物施設基準の早わかりより転載)

(7) 地区別危険物施設数

(令和2年4月1日現在)

施設区分 地区別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			計	
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般		
大和田					1							2	3
萱田町													
萱田							1						1
高津			1				2	1	1			3	8
高津東													
緑が丘									1				1
緑が丘西		1							1				2
大和田新田	5	19	37		22		14	20	11	(7)		15	143
ゆりのき台					1				1				2
米本					1				4	(1)		1	6
村上		1			4				2	(1)		2	9
村上南									1	(1)			1
神野													
保品		1			2								3
堀の内													
上高野		15	12		12		1	5	4	(4)		16	65
下高野							14						14
八千代台東													
八千代台南					1						1		2
八千代台西									1				1
八千代台北													
麦丸									1	(1)			1
吉橋	1	11	4		3	1	9	2				3	34
尾崎													
桑納													
島田					2							1	3
島田台	1	3			4		1		2	(2)		2	13
小池					2								2
大学町													
真木野													
神久保													
桑橋									1	(1)			1
佐山									1				1
平戸							1		2				3
勝田台					3								3
勝田台南									1				1
勝田台北													
勝田													
下市場													
計	7	51	54		58	1	43	28	35	(18)	1	45	323

※ 給油取扱所欄の()内数字は自家用給油取扱所施設数

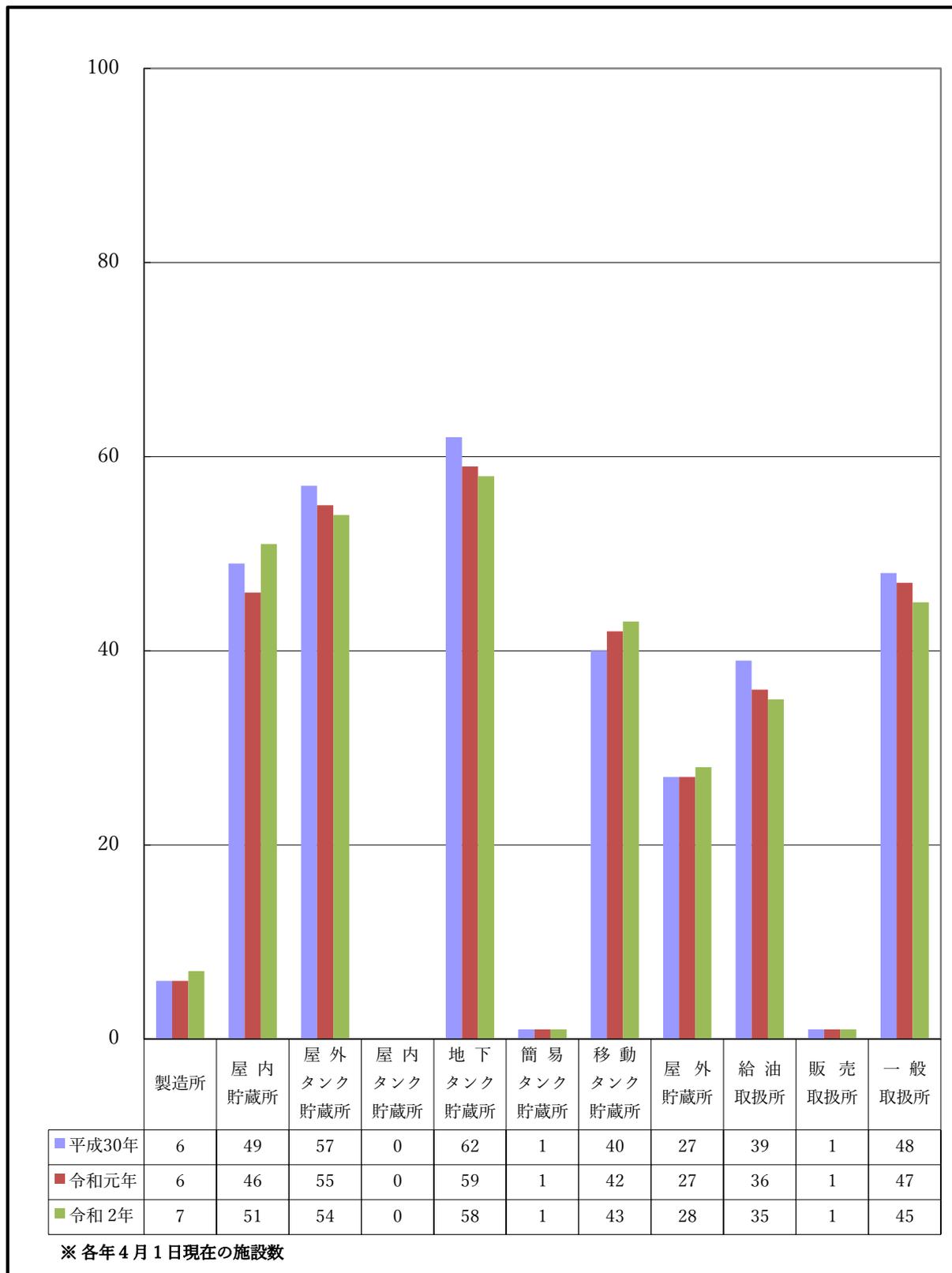
(9) 危険物施設の許認可申請等受理件数

(令和元年度)

施設区分 申請等区分		計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所		
				屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売
許 可	設置	2		1								1
	変更	27	6		1		2		2		3 (1)	13
完 成	設置	8	1	5			1			1		
	変更	24	4		1		2		1		2 (1)	14
廃止		6			1		2				1	2
譲渡		6		1			1		2		2 (2)	
品名数量変更届		13		5	1		2			2		3
仮使用承認申請		17	5								2	10
予防規程認可		1	1									
休止（再使用）届		2		1			1					
許可申請取下申請		2							2			
許可取消申請												
再交付申請												
保安監督者選解任届		35	1	15	2		4				7 (3)	6
資料提出届		185	17	14	44		15		5	19	32 (6)	39
計（A）		328	35	42	50		30		12	22	49 (13)	88
仮貯蔵仮取扱申請		2	※ 給油取扱所欄の()内数字は自家用給油取扱所分									
水圧検査												
水張検査		10										
計（B）		12										
合計（A）+（B）		340										

(10) 危険物施設数の推移

(各年4月1日現在)



(11) 火災予防条例等届受理件数

(令和元年度)

区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
禁止行為解除承認申請	1		2	1	2			1	1				8	
防火対象物使用開始(変更)届出	16	21	9	16	14	28	27	13	21	14	20	26	225	
炉等設置届出	5	3		1	4	1		5	17	5	2	14	57	
燃料電池発電設備等設置届出	3	5	1		1	2	4		6	3	4	2	31	
ネオン管灯設備設置届出														
水素ガスを充填する気球の設置届出														
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生のおそれのある行為の届出	9	6	6	12	5	2	10	22	25	15	13	3	128	
煙火打ち上げ・仕掛け届出		3		5	5		2						15	
催物開催届出						1							1	
水道断水・減水届出														
道路工事届出	18	9	9	31	20	8	26	16	12	15	11	19	194	
露店等の開設届出	4	7	9	16	9	10	26	11	11	4	1		108	
指定洞道等届出														
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い届出	1	2	4		2	4		2	3		2	1	21	
少量危険物・指定可燃物貯蔵・取扱い廃止届出	1						1		4	1		2	9	
少量危険物等タンク検査申請														
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出	4		3	1			1		1				10	
防火管理者選任(解任)届出	47	31	32	28	18	31	24	22	23	19	27	35	337	
消防計画作成(変更)届出	44	30	27	29	16	33	24	23	23	24	24	36	333	
統括防火管理者選任(解任)届出	1		2	2		3	1						9	
全体の消防計画作成(変更)届出	1		2	2		2	1		2			1	11	
罹災証明願	2	4		1	1			3	1	3	2	1	18	
計	157	121	106	145	97	125	147	118	150	103	106	140	1,515	

(12) 消防訓練届受理件数

(令和元年度)

区分		階別	防火 対象物数	届出 件数 (件)	訓練等の種別			
					避難 訓練 (回)	通報 訓練 (回)	消火 訓練 (回)	防火 映画等 (回)
(1)	イ	劇場・観覧場	6	6	6	6	4	
	ロ	公会堂・集会場	75	23	23	21	23	2
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	6	6	6	6	
	ハ	風俗営業等						
	ニ	カラオケボックス等	2	3	2	3	3	
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	93	38	38	30	27	2
(4)		百貨店・マーケット等	191	102	101	96	100	1
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	6	6	6	6	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,809	38	35	31	37	9
(6)	イ	(1) 病院	2	5	5	3	5	
		(2) 診療所	6					
		(3) 病院[6イ(1)を除く] 診療所[6イ(2)を除く]・助産院	24	32	30	28	30	1
		(4) 診療所[入院施設なし] 助産院[入所施設なし]	58	2	2	2	2	1
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	61	99	98	95	90	
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害児入所施設						
		(5) 障害者支援施設等	10	38	35	36	28	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	17	11	11	9	9	1
		(2) 更生施設						
		(3) 助産施設・保育所等	40	61	61	54	52	11
		(4) 児童発達支援センター等	8	6	6	5	5	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	34	15	13	14	12	
		ニ	幼稚園・特別支援学校	28	27	27	24	24
	(7)		学校(小・中・高等)大学・各種学校	131	4	4	4	3
(8)		図書館・美術館	4	3	3	3	3	
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場	1					
(10)		車両の停車場・航空機の発着場	7	2	2	2	2	
(11)		神社・教会等	21					
(12)	イ	工場・作業場	384	45	44	40	38	3
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	144					
	ロ	飛行機の格納庫						
(14)		倉庫	195	4	4	4	4	
(15)		前各項に該当しない事業場	379	16	14	14	15	1
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火 対象物	436	195	191	178	178	7
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	182	10	9	7	7	1
(17)		文化財	3					
計			4,378	797	776	721	713	42

(13) 所属別立入検査実施数

(令和元年度)

区分	実施所属等	対象 施設数 (※)	実施数	所属別					
				予防課	中央 消防署	東 消防署	八千代 台分署	睦分署	勝田台 分署
(1)	イ 劇場・観覧場	6							
	ロ 公会堂・集会場	75	4		1	1		1	1
(2)	イ キャバレー・ナイトクラブ								
	ロ 遊技場・ダンスホール	7							
	ハ 風俗営業等								
	ニ カラオケボックス等	2							
(3)	イ 待合・料理店								
	ロ 飲食店	93	10	5	1	2		1	1
(4)	百貨店・マーケット等	191	22	3	9	6	1	1	2
(5)	イ 旅館・ホテル・宿泊所	20	20	19	1				
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	1,809	188	2	68	58	4	24	32
(6)	イ	(1) 病院	2						
		(2) 診療所	6						
		(3) 病院[64(1)を除く] 診療所[64(2)を除く]・助産院	24	2	2				
		(4) 診療所[入院施設なし] 助産院[入所施設なし]	58						
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	61	11	10			1	
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設							
		(5) 障害者支援施設等	10	4	2				2
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	17	1	1				
		(2) 更生施設							
		(3) 助産施設・保育所等	40	5		1	2	1	1
		(4) 児童発達支援センター等	8	2			2		
		(5) 身体障害者福祉センター等	34	2	1		1		
	ニ 幼稚園・特別支援学校	28	1		1				
	(7)	学校（小・中・高等）大学・各種学校	131						
	(8)	図書館・美術館	4						
	(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場							
ロ イ以外の公衆浴場		1							
(10)	車両の停車場・航空機の発着場	7							
(11)	神社・教会等	21	2	2					
(12)	イ 工場・作業場	384	6	6					
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								
(13)	イ 自動車庫庫・駐車場	144	4	1	1			1	
	ロ 飛行機の格納庫								
(14)	倉庫	195							
(15)	前各項に該当しない事業場	379	5	5					
(16)	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火 対象物	436	28	28					
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	182	6	6					
(17)	文化財	3	3	3					
計	[A]	4,378	326	96	83	72	7	31	37
危険物 施設	給油取扱所	35	34	34					
	移動タンク貯蔵所	43	46	46					
	その他の危険物施設	245	65	65					
計	[B]	323	145	145					
合計	[A + B]	4,701	471	241	83	72	7	31	37

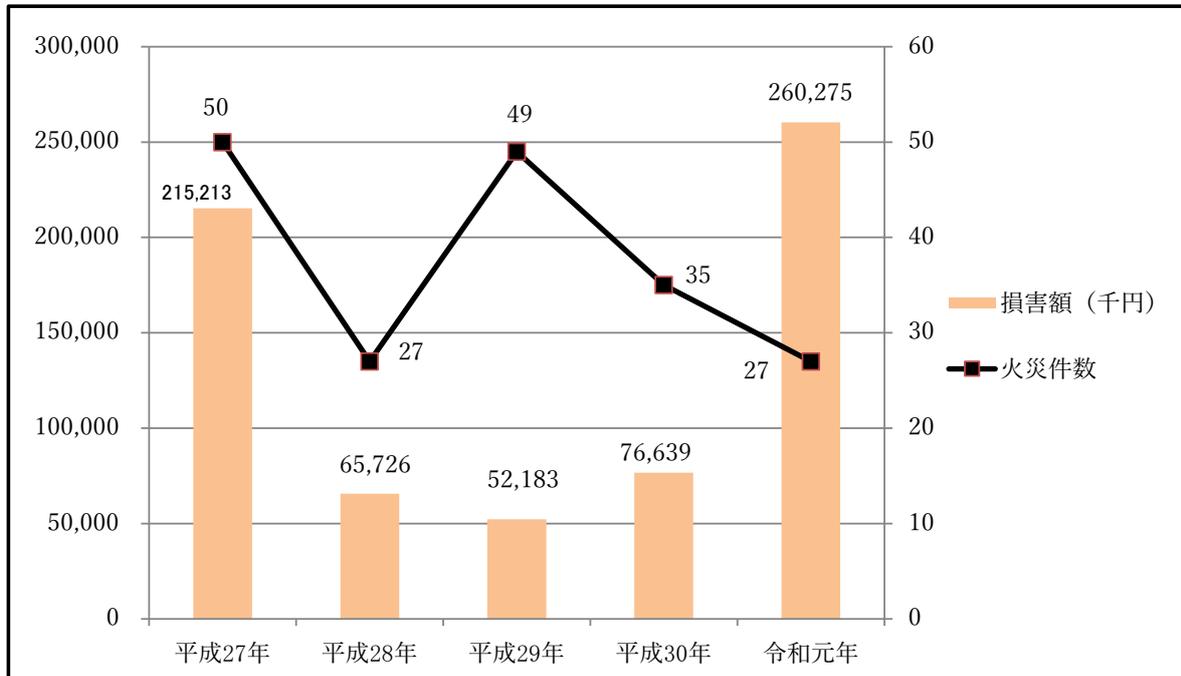
※令和2年3月末現在

2 火災統計

(1) 火災状況

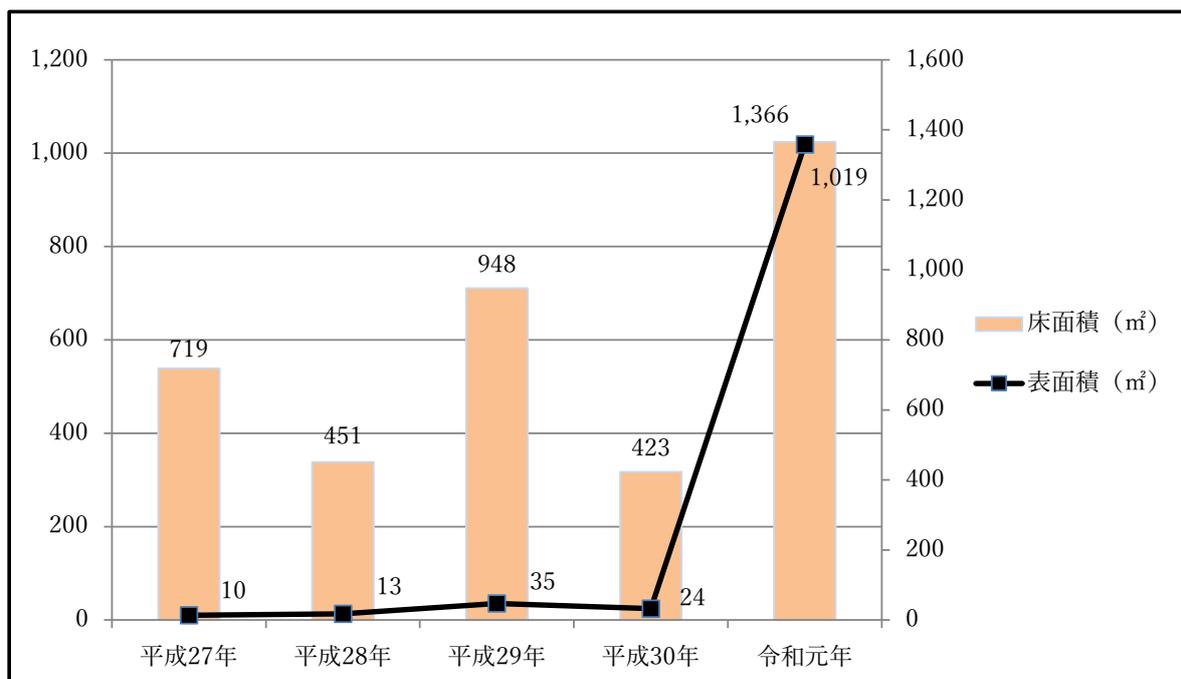
火災件数及び損害額の推移

(暦年統計)



建物焼損面積の推移

(暦年統計)



(2) 管理区域・地区別火災件数

(令和元年)

管理区域・地区別		区分	火災種別				計
			建物	林野	車両	その他	
中央消防署	大和田・大和田新田・村上		2				2
	萱田・萱田町・ゆりのき台		3				3
	高津・高津団地・高津東		1				1
東消防署	米本・米本団地		2				2
	村上・村上団地・村上南		1			2	3
	上高野・下高野・保品・神野・堀の内		1			1	2
八千代台分署	八千代台東・西・南・北		2			3	5
睦分署	吉橋・桑納・麦丸・島田・緑が丘西 緑が丘・尾崎・大和田新田の一部		3		1	2	6
	桑橋・島田台・小池・真木野・ 神久保					2	2
	大学町・平戸・佐山						
勝田台分署	下市場・勝田台					1	1
	勝田台南・勝田						
	村上・上高野の一部・村上南 勝田台北						
計			15		1	11	27

(3) 月別火災件数

(令和元年)

区分 月別	火災件数					焼損面積		建物火災焼損棟数			
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (m ²)	林野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや
1月	2			2	4	床 表					2
2月	3				3	床 表	549 85	6		3	7
3月	2			1	3	床 表	644 928	1	1	1	
4月	1				1	床 表	127	1		2	1
5月	1			3	4	床 表					1
6月	1				1	床 表					1
7月						床 表					
8月				1	1	床 表					
9月			1		1	床 表					
10月				2	2	床 表					
11月	5				5	床 表	46 6			1	5
12月				2	2	床 表					
計	15		1	11	27	床 表	1,366 1,019	8	1	7	17

※ 建物の焼損面積の欄の床は床面積，表は表面積を表す。

(4) 原因別火災件数

(令和元年)

出火原因	火災種別				計
	建物	林野	車両	その他	
たばこ				3	3
こんろ	2				2
かまど					
風呂かまど					
炉					
焼却炉					
ストーブ	1				1
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道					
排気管					
電気機器	1				1
電気装置					
電灯・電話等の配線					
内燃機関					
配線器具	2				2
火あそび				1	1
マッチ・ライター					
たき火				2	2
溶接機・切断機					
灯火	1				1
衝突の火花					
取り灰					
火入れ					
放火	1				1
放火の疑い			1	3	4
その他	4			1	5
不明	3			1	4
調査中					
計	15		1	11	27

(5) 曜日別火災件数

(令和元年)

曜日	火災種別				計
	建物	林野	車両	その他	
日曜日	1			1	2
月曜日	3		1	2	6
火曜日	2			1	3
水曜日	3			4	7
木曜日				1	1
金曜日	2				2
土曜日	4			2	6
不明					
計	15		1	11	27

(6) 火災件数前年比較

(暦年統計)

区分		令和元年 (A)	平成30年 (B)	増減(A)-(B) (C)	増減率(%) (C)/(B)×100	
火災件数	建物	15	17	△2	△12	
	林野					
	車両	1	4	△3	△75	
	その他	11	14	△3	△21	
	計	27	35	△8	△23	
焼損棟数	全焼	8	3	5	167	
	半焼	1		1		
	部分焼	7	6	1	17	
	ぼや	17	10	7	70	
	計	33	19	14	74	
焼面積	建物 (㎡)	床面積	1,366	423	943	223
		表面積	1,019	24	995	4,146
	林野(a)					
損害額 (千円)	建物	257,032	72,043	184,989	257	
	林野					
	車両	3,158	4,361	△1,203	△28	
	その他	66	235	△169	△72	
	爆発	19		19		
	計	260,275	76,639	183,636	240	

※ 損害額及び増減率については、表示単位未満を四捨五入した。

※ 損害額については個々の物件の損害を計上した。

(7) 原因別火災の推移

(暦年統計)

年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
計	50	27	49	35	27
原因別					
たばこ	3	7	4	4	3
こんろ	8	1	6	4	2
かまど					
風呂かまど					
炉					
焼却炉					
ストーブ	3	3	2	2	1
こたつ					
ボイラー					
煙突・煙道					
排気管	2				
電気機器	1		3		1
電気装置			1		
電灯・電話等の配線	4	1	3	4	
内燃機関					
配線器具	6	2	3	1	2
火あそび	1	1	1		1
マッチ・ライター					
たき火		1	6	5	2
溶接機・切断機		1			
灯火					1
衝突の火花					
取り灰					
火入れ			6		
放火	3	1	4	2	1
放火の疑い	7	4	7	4	4
その他	7	1	2	6	5
不明	5	4	1	3	4

(8) 時刻別火災の推移

(暦年統計)

年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
時刻別 合計	50	27	49	35	27
0時～		3		1	
1時～		1		3	2
2時～	2		3	1	
3時～	1	1		2	
4時～	3		2	1	
5時～	2	1	3		1
6時～	1		1		
7時～	2		2	1	1
8時～	1	3	2	3	
9時～	2	3	3	2	2
10時～	3	3	1	1	1
11時～	2			2	4
12時～	4	2	4	3	
13時～	2		8	2	3
14時～	1	2	1	3	2
15時～	4		1	1	2
16時～	5	2	3	1	1
17時～	1	1	5	2	
18時～	7	2	3		1
19時～	3		2	2	3
20時～	1	1	4	1	2
21時～	1	1			1
22時～	1		1	1	
23時～	1	1		1	1
不明				1	

(9) 全国・千葉県・八千代市の火災件数等の比較

(暦年統計)

区分		年別				
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火災件数 (件)	全国	39,111	36,831	39,373	37,981	37,538
	千葉県	2,005	1,742	1,998	1,924	1,863
	八千代市	50	27	49	35	27
建物焼損面積 (㎡)	全国	床 1,035,581	床 1,026,481	床 1,069,932	床 1,063,583	床 1,115,154
		表 112,797	表 112,652	表 111,304	表 117,981	表 140,026
	千葉県	床 38,815	床 32,982	床 44,623	床 38,710	床 46,133
		表 3,805	表 2,997	表 3,014	表 3,086	表 5,168
	八千代市	床 719	床 451	床 948	床 423	床 1,366
		表 10	表 13	表 35	表 24	表 1,019
損害額 (千円)	全国	82,520,479	75,233,396	97,314,667	84,627,240	80,243,132
	千葉県	10,839,717	2,907,350	3,730,210	3,266,907	3,581,743
	八千代市	215,213	65,726	52,183	76,639	260,275
一件当り損害額 (千円)	全国	2,110	2,043	2,472	2,228	2,138
	千葉県	5,406	1,669	1,867	1,698	1,923
	八千代市	4,304	2,434	1,065	2,190	9,640
死者数 (人)	全国	1,563	1,452	1,456	1,427	1,477
	千葉県	87	66	79	75	53
	八千代市	3	0	1	1	1
負傷者数 (人)	全国	6,309	5,899	6,052	6,114	5,814
	千葉県	307	274	266	298	253
	八千代市	4	6	4	3	7
出火率 (人口当り 一万)	全国	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0
	千葉県	3.2	2.8	3.2	3.1	3.0
	八千代市	2.6	1.4	2.5	1.8	1.4

※ 出火率については、表示単位未満を四捨五入した。

※ 令和元年データは概数値を、それ以外の各年のデータは確定値を使用した。

III 警戒防

1 消防施設・装備

(1) 消防本部・消防署車両配置状況

(令和2年4月1日現在)

	消防本部	消 防 署					計
		中 央 消防署	東 消防署	八千代台 分 署	睦 分 署	勝田台 分 署	
普通消防ポンプ自動車		1	1	1		1	4
非常用普通消防ポンプ自動車			1				1
水槽付消防ポンプ自動車			1	1	1	1	4
非常用水槽付消防ポンプ自動車					1		1
化学消防ポンプ自動車		1					1
はしご付消防自動車		1	1				2
小型動力ポンプ付水槽車			1				1
救助工作車		1					1
救急車		2	1	1	1	1	6
非常用救急車		1					1
指揮車	1	1					2
原因調査車		1					1
広報車	1						1
資機材搬送車		1	1				2
隊員輸送車	1						1
事務連絡車	4						4
乗用車	1						1
計	8	10	7	3	3	3	34

(2) 消防用車両一覧表

(令和2年4月1日現在)

	車種	ポンプ級別	登録年月	排気量(L)	備考
消防本部	事務連絡車		H16. 5	1.29	消防総務課
	乗用車		H29. 5	1.98	消防総務課
	広報車		H16. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H30. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H30. 7	0.65	予防課
	事務連絡車		H29. 6	0.65	警防課
	指揮車		H16. 7	0.65	警防課
	隊員輸送車		H17. 2	4.00	警防課
中央消防署	指揮車		H21.10	1.99	
	普通消防ポンプ自動車	A-2	H27. 3	4.00	
	化学消防ポンプ自動車	A-2	H27. 2	6.40	1,300ℓ・薬液(500ℓ)
	救助工作車		H19. 2	6.40	照明装置・クレーン付(Ⅱ型)
	はしご付消防自動車		H19.12	8.86	38m級
	高規格救急自動車		H26. 2	2.69	
	高規格救急自動車		H29. 2	2.69	
	高規格救急自動車		H19. 2	2.69	非常用
	資機材搬送車		H15. 1	4.21	
	原因調査車		H29. 6	1.98	
東消防署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H27. 3	4.00	
	普通消防ポンプ自動車	A-2	H14. 2	4.89	非常用
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H17. 3	6.40	1,500ℓ
	小型動力ポンプ付水槽車	B-2	H21.11	9.83	10,000ℓ
	はしご付消防自動車		H21.12	8.86	30m級
	高規格救急自動車		H30. 1	2.69	
	資機材搬送車		H 1. 8	1.81	
八千代台分署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H30. 3	4.00	災害対応型(1,300ℓ付)
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H13. 2	7.96	1,500ℓ
	高規格救急自動車		H24.10	2.69	
睦分署	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H30. 3	5.12	1,500ℓ・災害対応型
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H14. 2	7.96	非常用
	高規格救急自動車		R 1. 7	2.69	
勝田台分署	普通消防ポンプ自動車	A-2	H21.10	4.00	
	水槽付消防ポンプ自動車	A-2	H17. 3	6.40	1,500ℓ・災害対応型
	高規格救急自動車		H24. 2	3.49	

(3) 新設防火水槽

(令和元年度)

	設置場所	容量(m ³)	設置数	備考
1	八千代台北8-372-15	40	1	公設(移管)
2	八千代台北11-308-105	40	1	
3	八千代台北11-308-164	40	1	
4	八千代台北11-308-185	40	1	
5	八千代台北11-308-200	40	1	
6	八千代台北11-308-214	40	1	
7	緑が丘西1-4-4	100	1	私設(協定)
8	緑が丘西6-12-20	40	1	
9	緑が丘西8-7-2	40	2	
計			10	

(4) 新設消火栓

(令和元年度)

	設置場所	単口	双口	設置数	備考
1	吉橋2413	150		1	公設
2	吉橋1095	150		3	
計				4	

(5) 消防水利の保有数

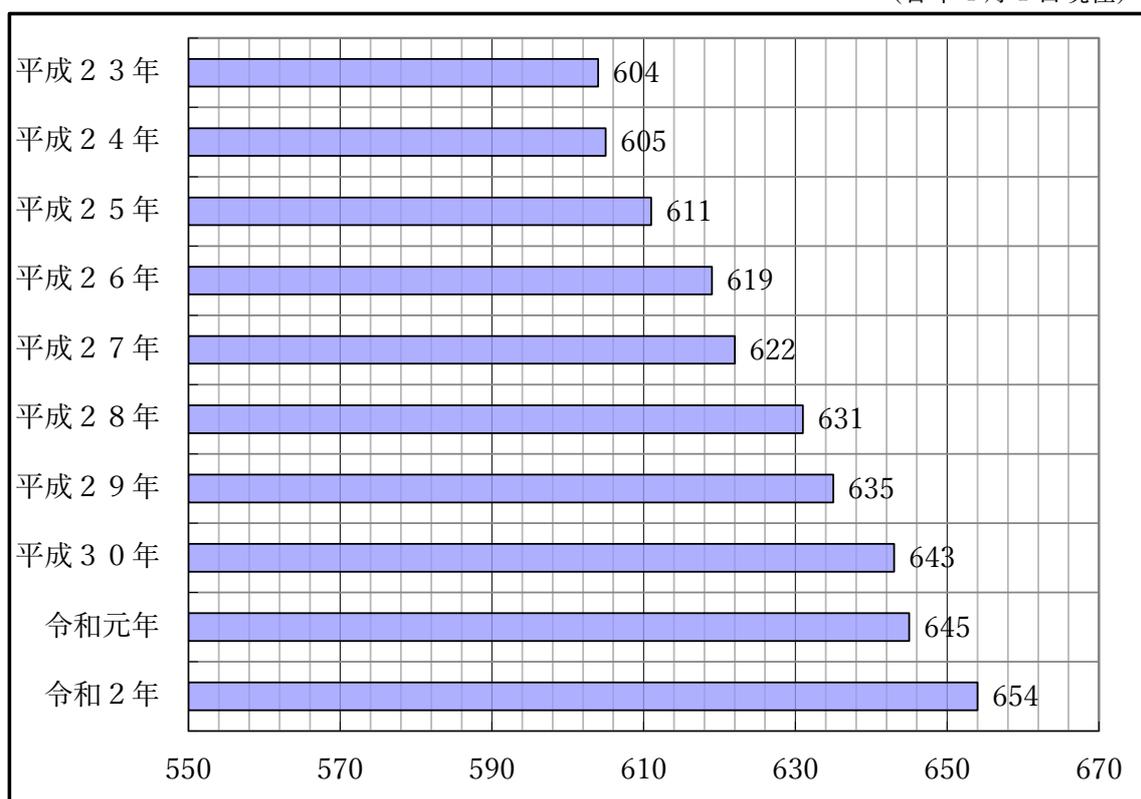
① 防火水槽保有数

(令和2年4月1日現在)

容 量		計
4 0 m ³ 以上	公 設	344
	私 設	205
4 0 m ³ 未満	公 設	105
計		654

② 年別防火水槽保有数

(各年4月1日現在)



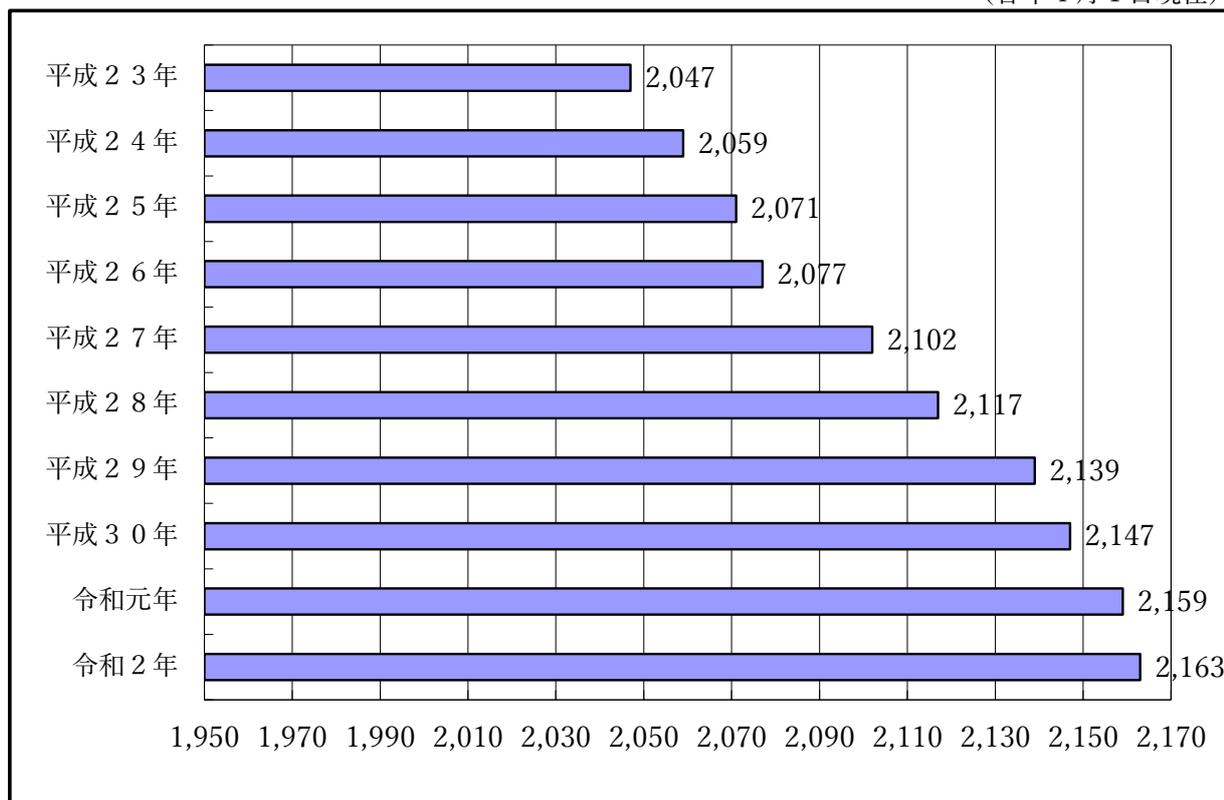
③ 消火栓保有数

(令和2年4月1日現在)

	双口	单口	計
600mm		1	1
450mm		3	3
400mm	7	2	9
350mm	2	2	4
300mm	86	4	90
250mm	46	6	52
200mm	248	48	296
150mm		690	690
125mm			
100mm		576	576
75mm		442	442
計	389	1,774	2,163

④ 年別消火栓保有数

(各年4月1日現在)



IV 指令

(2) 出場指令件数

(令和元年)

種別 月別	救急	消防車等の災害出場					計	計
		火災	救助	警戒	調査	その他		
1月	905	5	26	2	8	89	130	1,035
2月	713	3	11	1	5	54	74	787
3月	643	5	10		4	51	70	713
4月	676	2	13		5	44	64	740
5月	713	5	13	2	5	45	70	783
6月	692	3	12	1	12	40	68	760
7月	776	3	17		9	33	62	838
8月	781	1	13	1	14	49	78	859
9月	765	4	17	1	17	53	92	857
10月	751	5	14	1	13	41	74	825
11月	771	3	15	1	16	49	84	855
12月	809	3	16		6	69	94	903
計	8,995	42	177	10	114	617	960	9,955

(3) 119番受理状況

(令和元年)

種別 月別	火災	救急	その他の 災害	問合せ	試験	いたづら	間違い	その他	計
1月	5	877	41	133	21	9	51	143	1,280
2月	18	669	22	101	27	1	44	100	982
3月	20	614	22	98	40	8	63	126	991
4月	6	643	8	81	26	6	33	122	925
5月	7	699	10	107	29	12	33	123	1,020
6月	8	657	13	71	30	8	49	164	1,000
7月	3	751	15	86	22	9	58	157	1,101
8月	4	752	16	117	8	5	61	146	1,109
9月	4	742	25	119	69	8	53	224	1,244
10月	10	722	26	77	38	8	59	170	1,110
11月	9	781	30	70	27	23	49	162	1,151
12月		787	25	76	23	3	51	157	1,122
計	94	8,694	253	1,136	360	100	604	1,794	13,035

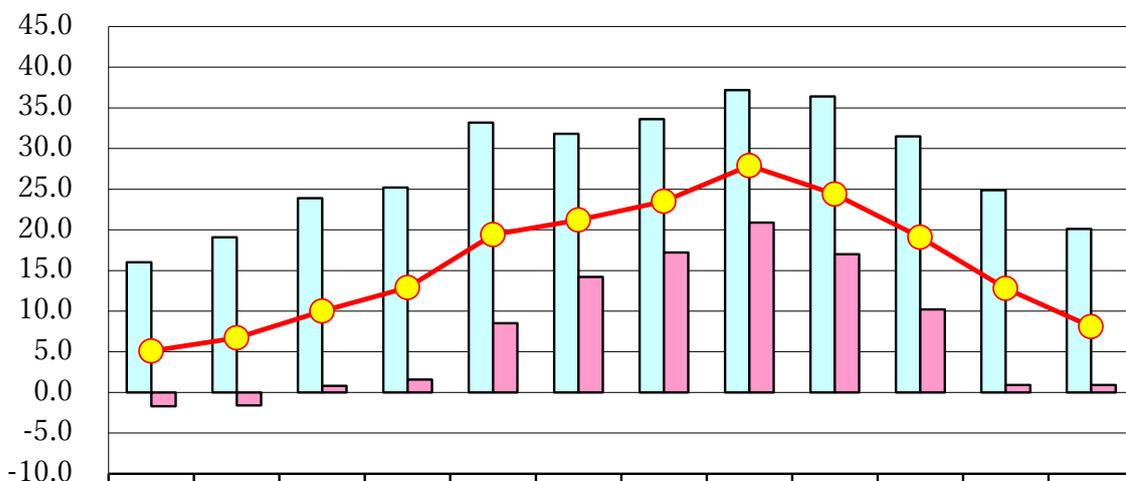
(4) 気象状況

(令和元年)

種別 月別	天 気					湿 度 (%)			気 温 (°C)			風 向	風 速 (m/s)					雨量 (mm)	降雪 (cm)
	快 晴	晴	曇	雨	雪	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 多 風 向	5 未 満	5 } 10 未 満	10 未 満	最 大 風 速	平 均	降 雨 量	降 雪 量
1月		26	5			89.4	13.6	42.6	16.0	-1.7	5.1	北西	27	4		25.1	3.2	11.0	
2月		14	12	2		91.3	12.4	53.2	19.1	-1.6	6.7	北北西	26	2		23.3	3.1	31.0	
3月		21	7	3		90.2	11.6	54.3	23.9	0.8	10.0	北西	29	2		21.9	3.4	95.0	
4月		19	9	2		89.7	11.1	55.7	25.2	1.6	12.9	北西	28	2		22.2	3.5	74.5	
5月		20	9	2		89.9	10.8	58.3	33.2	8.5	19.4	南南西	27	4		22.4	3.5	87.0	
6月		10	18	2		89.7	21.9	70.6	31.8	14.2	21.2	東南東	26	4		19.5	3.4	131.0	
7月		9	17	5		92.7	46.6	78.3	33.6	17.2	23.5	北東	26	5		22.1	3.4	156.5	
8月		16	15			89.9	38.3	71.0	37.2	20.9	27.9	南南西	25	6		22.9	3.9	37.5	
9月		16	12	2		92.5	32.4	70.8	36.4	17.0	24.4	東北東	28	2		40.1	3.2	145.5	
10月		11	16	4		93.8	17.2	71.4	31.5	10.2	19.1	北東	26	5		38.6	3.6	425.5	
11月		17	9	4		93.6	15.8	62.6	24.9	0.9	12.8	北北西	28	2		23.5	2.9	137.5	
12月		14	17			93.8	21.3	60.0	20.1	0.9	8.1	北西	31			26.1	2.6	76.0	
年間		193	146	26		93.8	10.8	62.4	37.2	-1.7	15.9	北西	327	38		40.1	3.3	1,408.0	

(令和元年)

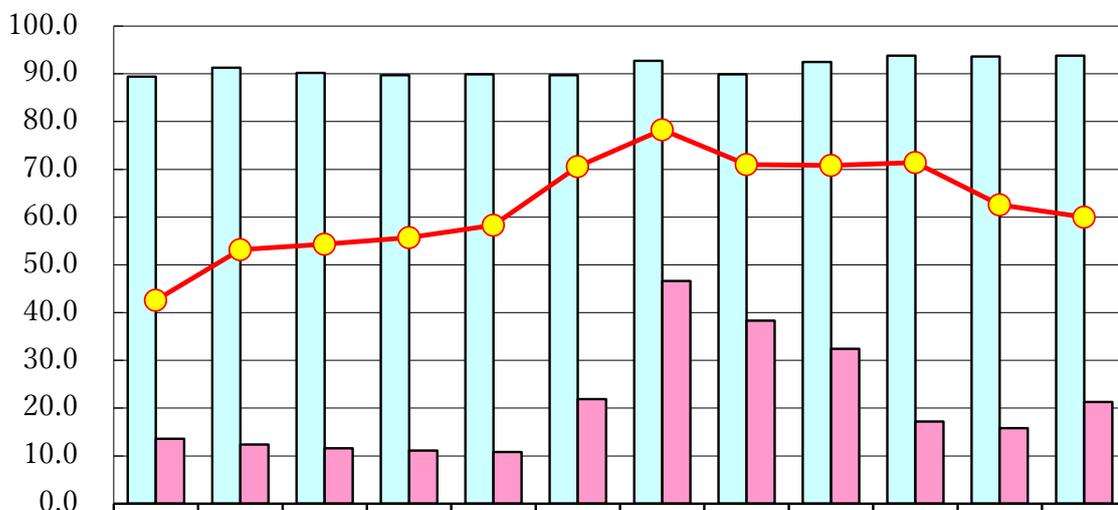
气温 °C



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高气温	16.0	19.1	23.9	25.2	33.2	31.8	33.6	37.2	36.4	31.5	24.9	20.1
最低气温	-1.7	-1.6	0.8	1.6	8.5	14.2	17.2	20.9	17.0	10.2	0.9	0.9
平均气温	5.1	6.7	10.0	12.9	19.4	21.2	23.5	27.9	24.4	19.1	12.8	8.1

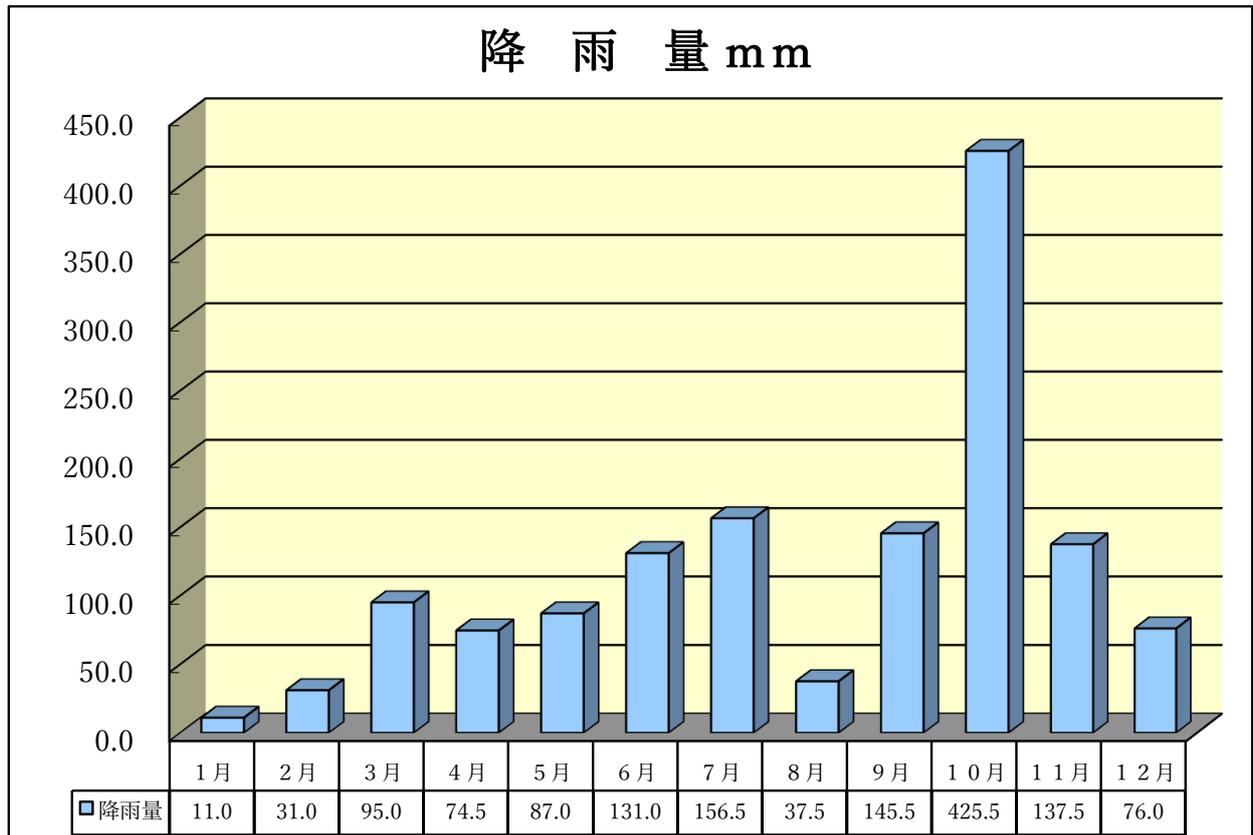
(令和元年)

湿度 %

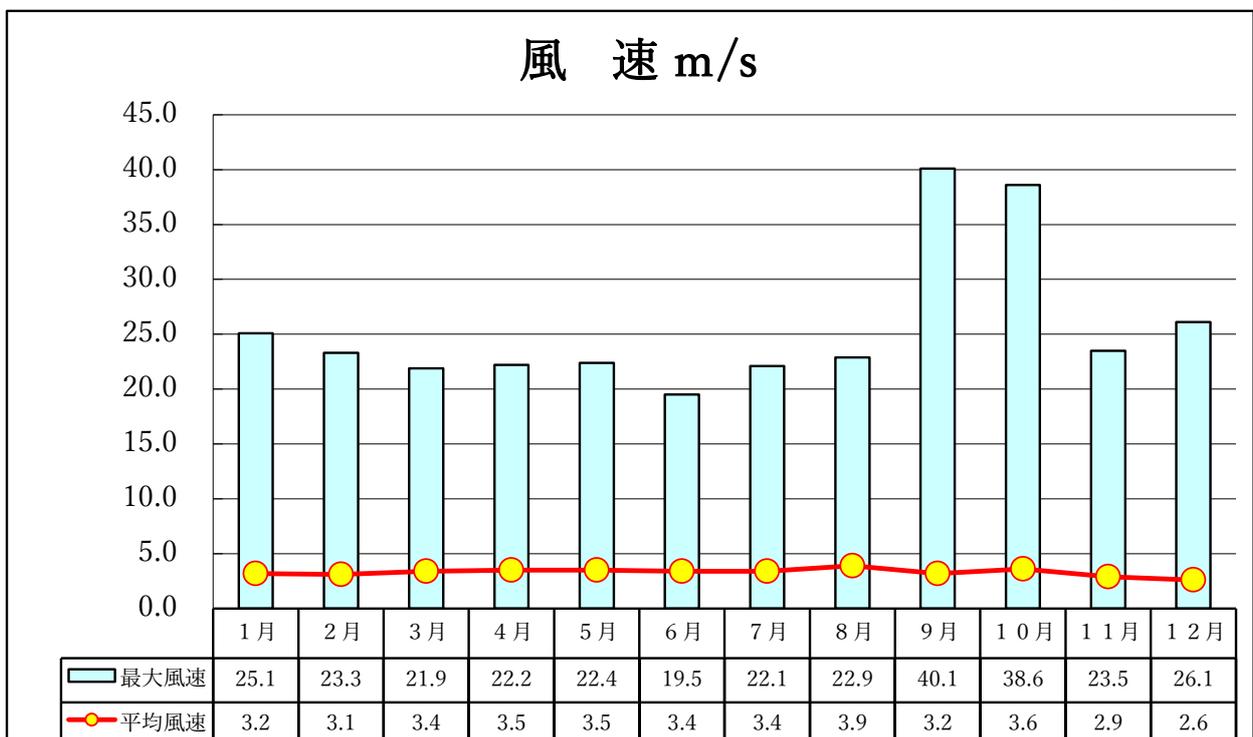


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高湿度	89.4	91.3	90.2	89.7	89.9	89.7	92.7	89.9	92.5	93.8	93.6	93.8
最低湿度	13.6	12.4	11.6	11.1	10.8	21.9	46.6	38.3	32.4	17.2	15.8	21.3
平均湿度	42.6	53.2	54.3	55.7	58.3	70.6	78.3	71.0	70.8	71.4	62.6	60.0

(令和元年)



(令和元年)

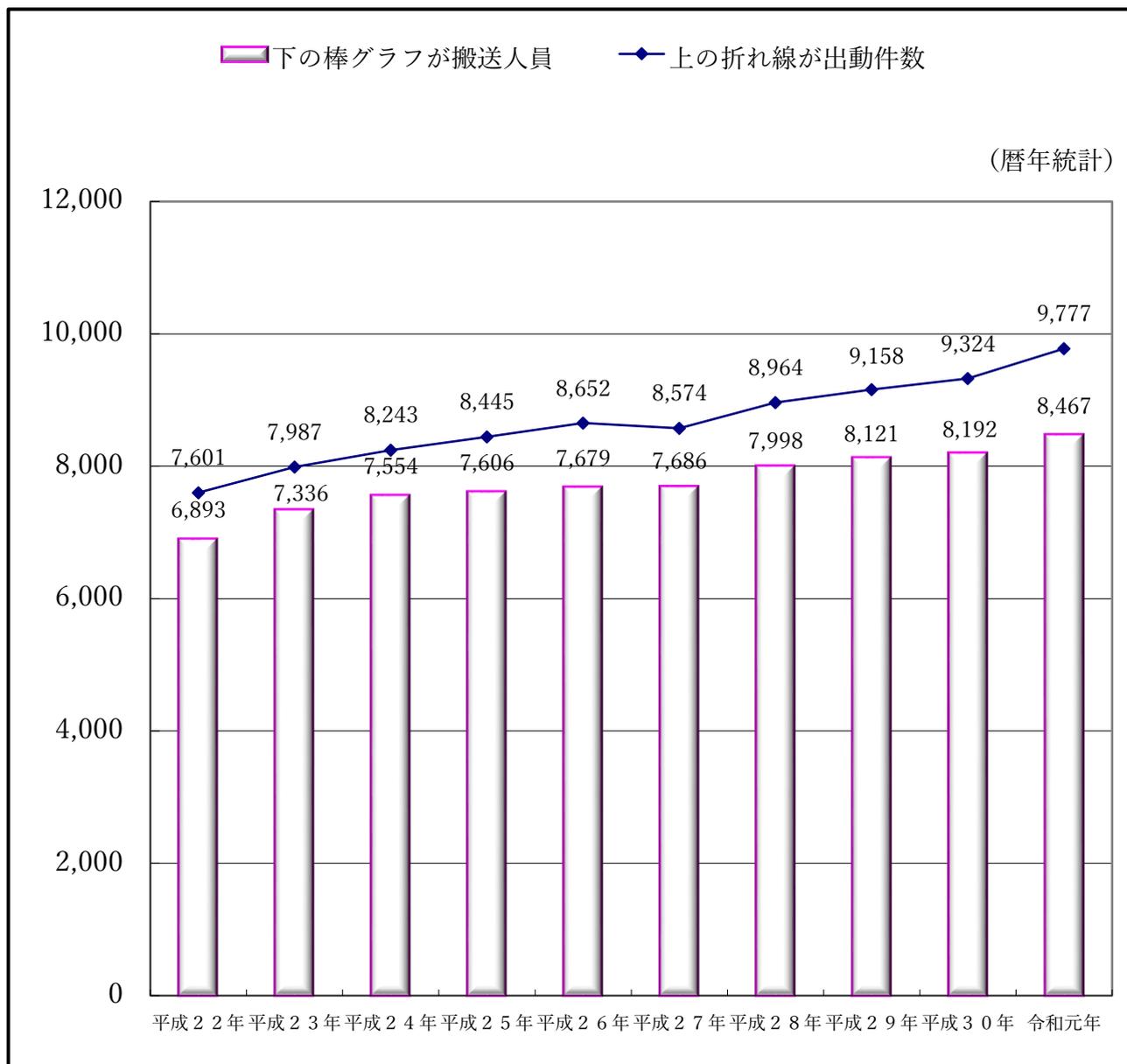


V 救急

・救助

1 救急統計

(1) 年別活動状況表



(2) 年別救急活動状況

① 事故種別出動件数

(暦年統計)

年別	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	
計	7,601	7,987	8,243	8,445	8,652	8,574	8,964	9,158	9,324	9,777	
事故種別	火災	23	32	30	39	29	41	23	24	23	23
	自然災害	5	4	2	1		1	7	4	5	
	水難	2			2	2	3		1	1	3
	交通	668	683	738	717	703	636	636	653	635	610
	労働災害	70	81	69	75	66	64	47	73	90	78
	運動競技	46	43	21	42	46	45	45	52	39	45
	一般	1,004	1,050	1,128	1,138	1,179	1,170	1,208	1,304	1,287	1,405
	加害	85	59	67	71	51	63	64	55	47	52
	自損行為	134	128	80	80	96	81	84	80	81	70
	急病	4,550	4,855	5,001	5,156	5,280	5,349	5,672	5,853	6,131	6,357
	その他	1,014	1,052	1,107	1,124	1,200	1,121	1,178	1,059	985	1,134

② 事故種別搬送人員

(暦年統計)

年別	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	
計	6,893	7,336	7,554	7,606	7,679	7,686	7,998	8,121	8,192	8,467	
事故種別	火災	5	5	3	12	5	3	5	4	3	7
	自然災害	2	5	1			1	7	4	5	
	水難						2				
	交通	661	714	746	734	694	620	613	631	601	575
	労働災害	70	81	68	75	66	61	46	73	88	75
	運動競技	45	42	21	42	46	49	45	53	39	44
	一般	934	959	1,049	1,017	1,038	1,045	1,100	1,179	1,139	1,236
	加害	75	51	53	58	39	44	56	45	35	40
	自損行為	95	93	66	63	62	60	59	55	63	50
	急病	4,125	4,465	4,623	4,687	4,756	4,850	5,110	5,217	5,444	5,526
	その他	881	921	924	918	973	951	957	860	775	914

③ 男女別搬送人員

(暦年統計)

	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
男	3,709	3,914	4,010	4,134	4,029	4,142	4,256	4,287	4,221	4,437
女	3,184	3,422	3,544	3,472	3,650	3,544	3,742	3,834	3,971	4,030
計	6,893	7,336	7,554	7,606	7,679	7,686	7,998	8,121	8,192	8,467

(3) 事故種別時間別出動件数

(令和元年)

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
計	23		3	610	78	45	1,405	52	70	6,357	1,134	9,777
0～2	1			23	1		75	9	2	336	34	481
2～4				14			44	4	6	300	18	386
4～6	3			20			29	5	3	332	13	405
6～8			2	58	3		83		4	499	22	671
8～10	1			61	10	2	155	1	5	697	148	1,080
10～12	3		1	65	23	9	169	1	4	722	243	1,240
12～14	4			71	11	13	151	6	3	603	206	1,068
14～16	5			74	13	6	148	3	7	527	147	930
16～18	1			84	11	6	158	5	11	595	144	1,015
18～20	1			82	4	6	160	5	8	694	70	1,030
20～22	2			36		3	146	5	11	596	52	851
22～24	2			22	2		87	8	6	456	37	620

(4) 事故種別時間別搬送人員

(令和元年)

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
計	7			575	75	44	1,236	40	50	5,526	914	8,467
0～2				19	1		63	9	1	278	8	379
2～4				15			34	4	5	258	5	321
4～6				16			24	2	2	297	4	345
6～8				50	3		77		2	424	7	563
8～10	1			62	10	2	152	1	3	651	131	1,013
10～12	1			61	22	9	153	1	3	648	220	1,118
12～14	1			66	11	12	134	2	2	540	188	956
14～16	1			71	13	6	126	2	6	465	129	819
16～18				79	10	6	138	4	9	516	122	884
18～20	2			82	4	6	141	4	6	576	50	871
20～22	1			34		3	118	4	7	486	32	685
22～24				20	1		76	7	4	387	18	513

(5) 事故種別年齢区分別搬送人員

(令和元年)

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										5	39	44
乳幼児				18			90			263	27	398
少年				67	2	34	45	5	7	145	6	311
成人	5			348	57	10	263	26	30	1,667	234	2,640
高齢者	2			142	16		838	9	13	3,446	608	5,074
計	7			575	75	44	1,236	40	50	5,526	914	8,467

(注) 年齢区分は、次による。

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者

少年 満7歳以上満18歳未満の者

成人 満18歳以上満65歳未満の者

高齢者 満65歳以上の者

(6) 事故種別傷病程度別搬送人員

(令和元年)

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡							9		7	98	2	116
重症	2			20	5		54	1	7	434	171	694
中等症				132	26	16	457	7	23	2,387	627	3,675
軽症	5			422	44	28	715	32	13	2,606	113	3,978
その他				1			1			1	1	4
計	7			575	75	44	1,236	40	50	5,526	914	8,467

(注) 1 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類した。

- (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。
- (2) 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上のもの。
- (3) 中等症とは、傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの。
- (5) その他とは、傷病程度が判明しないもの及びその他に搬送したもの。

2 搬送人員は、医師の診断を受け傷病程度の判明した人員である。

(7) 年齢区分別傷病程度別搬送人員

(令和元年)

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡		1	1	17	97	116
重症	9	18	9	181	477	694
中等症	32	159	92	942	2,450	3,675
軽症	3	220	209	1,498	2,048	3,978
その他				2	2	4
計	44	398	311	2,640	5,074	8,467

(8) 事故種別不搬送理由別件数

(令和元年)

事故種別 不搬送理由	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
緊急性なし	1			1			2			9	8	21
傷病者なし	9		1	1						2	9	22
拒否				11	1		14	3	1	20	5	55
酩酊							5			7	39	51
死亡	1		2	1			3		11	119	15	152
現場処置	1			56	2	1	139	11	7	660	62	939
誤報・いたづら	5									1	66	72
その他				8			9		1	17	18	53
計	17		3	78	3	1	172	14	20	835	222	1,365

(9) 現場到着所要時間別出動件数

(令和元年)

種別	時間					計	平均所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	21	72	3,390	2,844	30	6,357	9分30秒
交通	5	8	282	309	6	610	9分46秒
一般	3	22	781	592	7	1,405	9分19秒
その他	13	53	777	556	6	1,405	9分01秒
計	42	155	5,230	4,301	49	9,777	9分25秒

(注) 所要時間は、入電から現場到着までに要した時間をいう。

(10) 収容所要時間別搬送人員

(令和元年)

種別	時間						計	平均所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
急病		20	621	4,156	697	32	5,526	44分38秒
交通		2	44	465	58	6	575	44分45秒
一般		4	121	852	249	10	1,236	47分47秒
その他		9	178	835	102	6	1,130	41分16秒
計		35	964	6,308	1,106	54	8,467	44分39秒

(注) 所要時間は、入電から収容医療機関の医師に傷病者を引き継ぐまでに要した時間をいう。

(11) 医療機関等へ収容するまでの間に救急隊員が行った応急処置数

(令和元年)

事故種別	急病	交通	一般	その他	計
応急処置					
対象人員	5,526	575	1,236	1,130	8,467
止血	37	14	81	15	147
被覆	27	124	392	58	601
固定	11	247	132	38	428
保温	49	13	8	11	81
酸素吸入	1,040	50	67	296	1,453
人工呼吸	23	1	2	2	28
胸骨圧迫	2				2
心肺蘇生	150	2	16	11	179
在宅療法継続	20				20
ショックパンツによる血圧保持					
血圧測定	5,359	567	1,209	1,068	8,203
心音・呼吸音聴取	4,672	478	886	870	6,906
血中酸素飽和度測定	5,385	571	1,220	1,112	8,288
心電図測定	4,719	350	811	855	6,735
気道確保	221	2	22	18	263
うち経鼻エアウェイ	6				6
うち異物除去	6		1		7
うちラリングアルマスク等	39		6	5	50
うち気管挿管				1	1
除細動	16				16
静脈路確保	67	1	9	4	81
うち心肺機能停止前	23	1	3		27
うち心肺機能停止後	44		6	4	54
薬剤投与	28		1	3	32
血糖測定	34				34
ブドウ糖投与	6				6
エピペン投与					
その他の処置	28			12	40
計	21,894	2,420	4,856	4,373	33,543

(12) 不搬送件数のうち救急隊員が行った現場応急処置数

(令和元年)

事故種別	急病	交通	一般	その他	計
応急処置					
対象人員	835	85	173	281	1,374
止血	7		1	2	10
被覆	2	9	38	6	55
固定		1			1
保温	1				1
酸素吸入	1				1
人工呼吸					
胸骨圧迫					
心肺蘇生					
在宅療法継続					
ショックパンツによる血圧保持					
血圧測定	654	56	132	89	931
心音・呼吸音聴取	527	43	96	69	735
血中酸素飽和度測定	667	57	136	91	951
心電図測定	374	15	55	39	483
気道確保					
うち経鼻エアウェイ					
うち異物除去					
うちラリングアルマスク等					
うち気管挿管					
除細動					
静脈路確保					
うち心肺機能停止前					
うち心肺機能停止後					
薬剤投与					
血糖測定					
ブドウ糖投与					
エピペン投与					
その他の処置					
計	2,233	181	458	296	3,168

(13) 曜日別月別出動件数

(令和元年)

区分		事故種別											計
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
曜日別	月	7		1	93	11	7	201	10	9	916	189	1,444
	火	2			79	8	1	203	6	12	954	200	1,465
	水	4		1	107	11	3	198	5	7	895	175	1,406
	木	3		1	89	12	2	185	3	15	888	167	1,365
	金	2			89	18	2	183	7	15	919	189	1,424
	土	2			83	10	16	213	8	6	865	141	1,344
	日	3			70	8	14	222	13	6	920	73	1,329
計		23		3	610	78	45	1,405	52	70	6,357	1,134	9,777
月別	1月	2			45	7	3	117	6	8	707	122	1,017
	2月	5			39	4	4	106	5	8	513	96	780
	3月	4			51	4	3	95	2	5	457	84	705
	4月	2			41	9	4	121	2	4	450	101	734
	5月	1		1	39	5	6	117	7	8	504	83	771
	6月	1			39	5	6	117	8	7	486	75	744
	7月	2		1	56	8	3	106	1	8	549	94	828
	8月				49	9	2	114	10	3	563	89	839
	9月	2			66	11	7	110	5	6	525	93	825
	10月				57	5	6	128	1		510	97	804
	11月	3			57	8	1	122	4	8	538	96	837
	12月	1		1	71	3		152	1	5	555	104	893

(14) 曜日別月別搬送人員

(令和元年)

区分		事故種別											計
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
曜日別	月	2			88	10	7	183	3	7	801	156	1,257
	火				73	8	1	173	6	9	829	172	1,271
	水				100	11	2	170	2	5	774	147	1,211
	木				81	12	2	171	3	8	771	136	1,184
	金	1			87	17	2	159	7	12	799	160	1,244
	土	3			78	10	16	184	6	4	743	104	1,148
	日	1			68	7	14	196	13	5	809	39	1,152
計		7			575	75	44	1,236	40	50	5,526	914	8,467
月別	1月				37	6	3	103	5	4	620	101	879
	2月	4			40	4	4	95	3	7	433	82	672
	3月	1			46	4	3	86	3	3	398	62	606
	4月				43	8	4	106	2	2	381	87	633
	5月				38	5	5	105	4	5	446	74	682
	6月				38	5	6	103	7	6	438	60	663
	7月				51	8	3	91		7	480	73	713
	8月				45	9	2	102	8	3	499	69	737
	9月				63	10	7	95	3	6	460	71	715
	10月				54	5	6	110	1		434	80	690
	11月	2			53	8	1	110	3	5	457	78	717
	12月				67	3		130	1	2	480	77	760

(15) 発生場所別搬送人員

(令和元年)

発生場所 事故種別	住宅	公衆出入 場所	仕事場	道路	その他	計
急病	4,365	862	90	188	21	5,526
交通	19	23		529	4	575
一般	728	281	9	207	11	1,236
その他	74	978	59	16	3	1,130
計	5,186	2,144	158	940	39	8,467

(注) 発生場所は、事故等の発生した場所又は傷病者がいた場所に基づき、次により分類した。

- ・住宅とは、一般住宅及び高層住宅等に住居としている場所をいう。
- ・公衆出入場所とは、多数の人が集まる場所をいう。
- ・仕事場とは、工場、作業場、各種事業所等の仕事をしている場所をいう。
- ・道路とは、一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等をいう。

(16) 応急手当普及啓発活動実施状況

(年度統計)

区分		年度別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
普通救命講習 (成人)	回数	72	57	56	58	56	
	受講者数	1,023	805	658	745	658	
普通救命講習 (小児・乳児)	回数	20	21	19	21	21	
	受講者数	225	228	231	237	224	
上級救命講習	回数	3	3	3	3	4	
	受講者数	40	41	40	48	58	
救命入門 コース	回数	43	47	46	62	61	
	受講者数	2,982	3,086	3,924	4,617	4,984	
実技救命講習	回数				1		
	受講者数				5		
分割講習	回数		2		2		
	受講者数		22		16		
応急手当 普及員講習	回数				1	1	
	受講者数				4	4	
計	回数	138	130	124	148	143	
	受講者数	4,270	4,182	4,853	5,672	5,928	

2 救助統計

救助出動件数及び活動状況

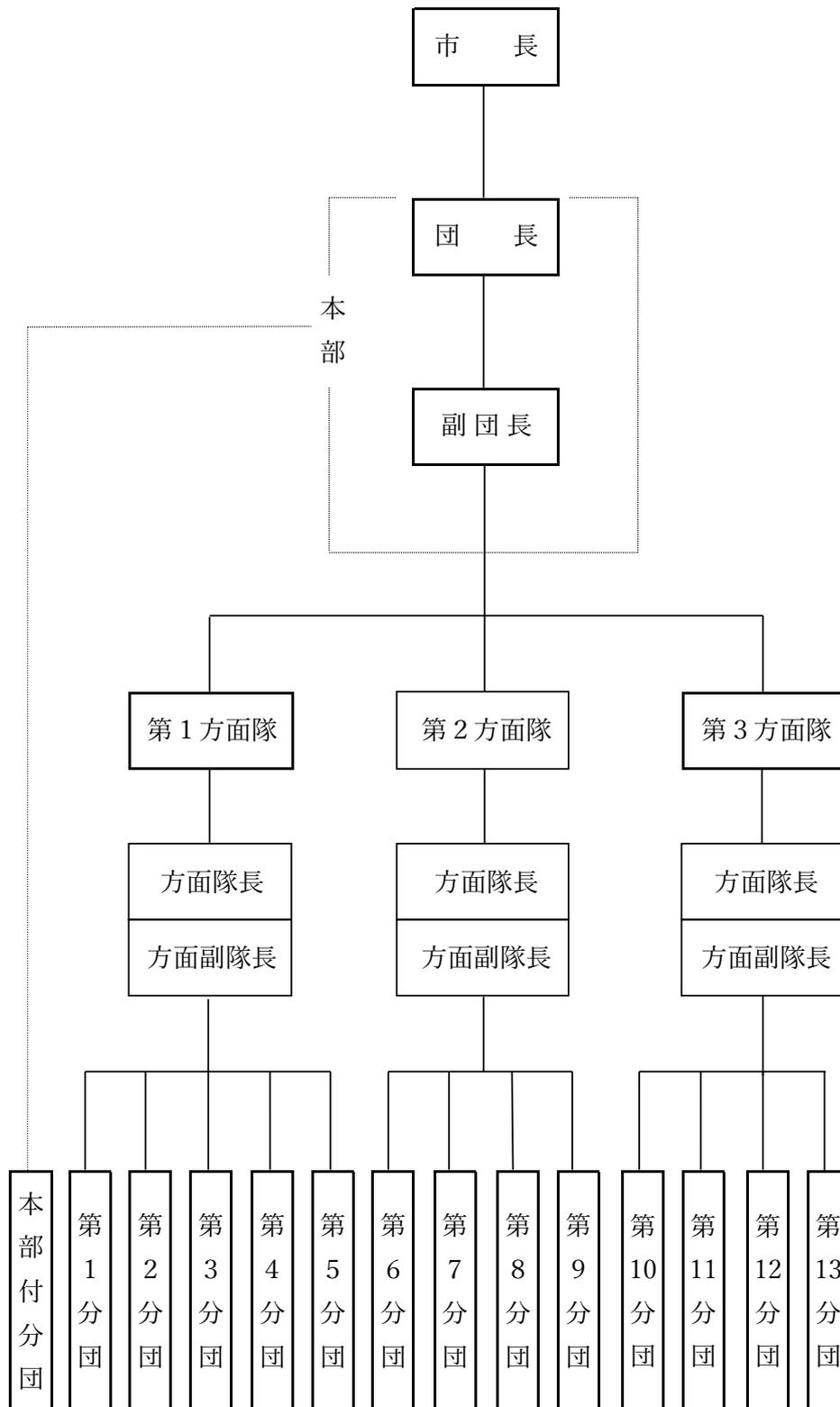
(暦年統計)

事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		年別・区分									
平成27年	出動件数	3	18	3		3	32			21	80
	活動件数	3	8	2		1	25			4	43
	救助人員	1	9	2		1	20			4	37
平成28年	出動件数		14	1		3	31			55	104
	活動件数		3				31			6	40
	救助人員		4				20			6	30
平成29年	出動件数	1	14	1		1	51			76	144
	活動件数	1	4	1			50			11	67
	救助人員		6	1			37			11	55
平成30年	出動件数	2	26	1		4	61			96	190
	活動件数	2	12	1		3	61			7	86
	救助人員	1	13	1		3	43			6	67
令和元年	出動件数	2	13	1		1	57	1		104	179
	活動件数	2	5	1			57			4	69
	救助人員	1	6				36			4	47

(注) その他の事故には、誤報・いたずら等を含む。

VI 消防団

(2) 消防団組織



(3) 区域別消防団員数及び施設設備配置表

(令和2年4月1日現在)

分団名	本部	第1方面隊					第2方面隊					第3方面隊					計		
		方面隊	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	方面隊	第6分団	第7分団	第8分団	第9分団	方面隊	第10分団	第11分団	第12分団		第13分団	
区域名	八千代市全域	第1分団から第5分団までの区域	大和田・萱田町及び村上の一部	ゆりのき台・萱田及び萱田町の一部	大和田新田・緑が丘及び萱田町の一部	八千代台東・八千代台南・八千代台北及び八千代台西	高津・高津東及び八千代台北の一部	第6分団から第9分団までの区域	桑納・麦丸・島田及び大和田新田の一部	吉橋・尾崎及び緑が丘西	桑橋・島田台・小池・真木野・神久保及び大学町	平戸・佐山及び大学町の一部	第10分団から第13分団までの区域	米本・上高野及び下高野	村上及び村上南の一部	下市場・勝田台北・勝田台南・村上南・勝田	上高野の一部及び村上の一部	保品・神野・堀の内及び米本の一部	
条例定数	30	2	21	21	21	21	21	2	21	21	21	21	2	21	21	21	21	21	309
内訳	実員	30	2	17	17	20	18	21	2	17	21	14	21	2	21	21	21	20	285
団長	1																		1
副団長	副団長	3																	3
	方面隊長		1					1					1						3
分団長	方面副隊長		1					1					1						3
	分団長	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	14
部長	1		1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1	14
班長	2		2	2	2	2	2		2	2	2	2		2	2	2	2	2	28
団員	22		13	13	16	14	17		13	17	10	17		17	17	17	16		219
設備	ポンプ自動車		1	1	1	1				1	1	1		1	1	1	1		11
	小型動力ポンプ付積載						1		1										2

(4) 年齢別消防団員数

(令和2年4月1日現在)

階級等 年齢	団長	副団長		分団長		部長	班長	団員	計
		副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長				
18歳									
19歳									
20歳								1	1
21歳								2	2
22歳									
23歳								2	2
24歳								1	1
25歳								5	5
26歳								2	2
27歳								2	2
28歳							1	4	5
29歳								6	6
30歳							1	4	5
31歳								4	4
32歳							1	11	12
33歳					1			6	7
34歳								4	4
35歳							1	7	8
36歳					1		2	5	8
37歳							1	12	13
38歳					1		1	6	8
39歳						1	7	6	14
40歳						2		12	14
41歳					1	1	1	9	12
42歳					1	1	3	3	8
43歳					1	2		13	16
44歳					3	1	2	5	11
45歳					1	2		8	11
46歳					2	1	3	10	16
47歳						1		11	12
48歳			1			1		6	8
49歳		1			1			13	15
50歳				1				6	7
51歳								10	10
52歳							1	6	7
53歳				1			1	4	6
54歳				1			2	3	6
55歳			1					2	3
56歳									
57歳								1	1
58歳								1	1
59歳	1	2	1			1		2	7
60歳								2	2
61歳									
62歳									
63歳									
64歳									
65歳								1	1
66歳									
67歳									
68歳									
69歳					1				1
70歳以上								1	1
計	1	3	3	3	14	14	28	219	285

※ 平均年齢は42.0歳

(5) 在職年数別消防団員数

(令和2年4月1日現在)

区分	階級						
	団長	副団長	分団長	部長	班長	団員	計
5年未満					3	72 (9)	75 (9)
5年以上10年未満			3	6	11	42 (7)	62 (7)
10年以上15年未満			5	4	9	44 (4)	62 (4)
15年以上20年未満		1	6	3 (1)	3 (2)	39 (2)	52 (5)
20年以上25年未満		3	2 (1)	1	2	14	22 (1)
25年以上30年未満	1	1				7	9
30年以上35年未満		1	1				2
35年以上40年未満							
40年以上						1	1
計	1	6	17 (1)	14 (1)	28 (2)	219 (22)	285 (26)

※()内は女性団員数

(6) 消防団員の報酬等

(令和2年4月1日現在)

区分	階級					
	団長	副団長	分団長	部長	班長	団員
報酬(年額)	136,000円	100,000円	75,000円	46,000円	32,000円	28,000円
費用弁償	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出動 ・ 警戒 ・ 訓練 } 各1回につき2,000円支給					

(7) 分団別消防自動車等の配置状況

(令和2年4月1日現在)

所 属	車 種	ポンプ 級 別	購入年月	排気量 (L)	備 考
第1方面隊					
第1分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H27.1	4.00	無線機付
第2分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H20.1	4.00	無線機付
第3分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H21.2	4.00	無線機付
第4分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H20.1	4.00	無線機付
第5分団	小型動力ポンプ付積載車	B-3	H 6.9	1.99	無線機付
第2方面隊					
第6分団	小型動力ポンプ付積載車	B-3	H 7.10	1.99	無線機付
第7分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H19.3	4.00	無線機付
第8分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H16.11	4.00	無線機付
第9分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H30.2	4.00	無線機付
第3方面隊					
第10分団	消防ポンプ自動車 (BD-I)	A-2	H 9.3	4.16	無線機付
第11分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H30.2	4.00	無線機付
第12分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H21.2	4.00	無線機付
第13分団	消防ポンプ自動車 (CD-I)	A-2	H27.1	4.00	無線機付

(8) 分団別水利状況

(令和2年4月1日現在)

所 属	管 轄 区 域	防 火 水 槽					消火栓	合 計
		公 設			私 設	計		
		20m ³ 未 満	20m ³ ~ 40m ³	40m ³ 以 上				
第1方面隊								
第1分団	大和田, 萱田町及び村上の一部	3		24	6	33	161	194
第2分団	ゆりのき台, 萱田及び萱田町の一部	1		17	11	29	128	157
第3分団	大和田新田, 緑が丘及び萱田町の一部	5		79	63	147	418	565
第4分団	八千代台東, 八千代台南, 八千代台北 及び八千代台西	3	1	33	14	51	271	322
第5分団	高津, 高津東及び八千代台北の一部	6		22	10	38	195	233
第2方面隊								
第6分団	桑納, 麦丸, 島田及び大和田新田の 一部	9		9	2	20	51	71
第7分団	吉橋, 尾崎及び緑が丘西	8		26	23	57	131	188
第8分団	桑橋, 島田台, 小池, 真木野, 神久保 及び大学町	12	1	16	12	41	72	113
第9分団	平戸, 佐山及び大学町の一部	9		11		20	27	47
第3方面隊								
第10分団	米本, 上高野及び下高野	18	1	21	15	55	161	216
第11分団	村上及び村上南の一部	9		14	17	40	117	157
第12分団	下市場, 勝田台北, 勝田台, 勝田台南, 村上南, 勝田, 上高野の一部及び村上 の一部	8		56	29	93	368	461
第13分団	保品, 神野, 堀の内及び米本の一部	11		16	3	30	63	93
合 計		102	3	344	205	654	2,163	2,817

(9) 分団別施設状況

(令和2年4月1日現在)

所 属	所 在 地	構 造	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年月日
第1方面隊					
第1分団	大和田793	鉄骨造2階建	30.00	51.68	S60.3.31
第2分団	萱田1104-1	鉄骨造2階建	34.30	54.64	H4.3.25
第3分団	大和田新田154-1	鉄骨造2階建	31.82	53.40	S59.3.31
第4分団	八千代台北1-12-1	R C造3階建	332.50	140.00	S47.10.27
第5分団	高津298-1	鉄骨造2階建	36.05	54.27	H5.3.20
第2方面隊					
第6分団	桑納203-1	鉄骨造2階建	39.17	63.03	H8.3.21
第7分団	吉橋1196-1	軽量鉄骨造2階建	29.19	49.48	S57.3.25
第8分団	島田台1052	鉄骨造2階建	36.05	54.27	H6.1.31
第9分団	平戸263-2	鉄骨造2階建	30.77	50.24	S59.3.31
第3方面隊					
第10分団	米本2716-3	鉄骨造2階建	32.18	51.68	S62.12.11
第11分団	村上432	軽量鉄骨造2階建	29.19	49.46	S57.3.25
第12分団	勝田台北2-176	鉄骨造2階建	32.18	51.59	S61.6.25
第13分団	神野744-1	鉄骨造2階建	39.17	63.03	H7.3.20

(10) 消防団活動状況

消防団の主な業務

火災，風水害，地震，がけ崩れなどへの対応のほか，災害時の人命救助，避難誘導などの活動をしています。日常の活動としては，火災予防，応急手当の普及・啓発，警戒警備，教育訓練，機械や器具の点検などを実施しています。

また，本部付けの女性の消防団員は，応急手当講習会，住宅用火災警報器の普及・啓発，消防団のPRなどを実施しています。

① 回数

(年度統計)

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出動	19 [19]	25 [25]	23 [23]	28 [28]	34 [8]
警戒	12 (3)	14 (3)	16 (3)	12 (3)	12 (3)
訓練	225 (38)	231 (47)	244 (55)	280 (58)	258 (55)
計	256 (60)	270 (75)	283 (81)	320 (89)	304 (66)

※ []内は火災の出動数

()内は女性団員数

② 人員

(年度統計)

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出動	133	232	102	198	330
警戒	405 (15)	410 (10)	478 (14)	411 (8)	414 (9)
訓練	1,232 (111)	1,286 (133)	1,324 (152)	1,568 (165)	1,405 (134)
計	1,770 (126)	1,928 (143)	1,904 (166)	2,177 (173)	2,149 (143)

※ ()内は女性団員数

(11) 歴代消防団長

(令和2年4月1日現在)

	氏名	在職期間
初代	大澤石松	昭和29年1月15日～昭和55年1月4日
2代	加藤公愛	昭和55年2月21日～昭和56年6月19日
3代	大澤作太郎	昭和56年7月1日～昭和61年3月31日
4代	中嶋久雄	昭和61年4月1日～平成5年3月31日
5代	村山武夫	平成5年4月1日～平成11年3月31日
6代	大木健治郎	平成11年4月1日～平成13年3月31日
7代	清宮詢	平成13年4月1日～平成17年3月31日
8代	植草一夫	平成17年4月1日～平成19年3月31日
9代	太田洋	平成19年4月1日～平成23年3月31日
10代	大澤英明	平成23年4月1日～平成25年3月31日
11代	安原健吉	平成25年4月1日～平成28年3月31日
12代	鈴木茂	平成28年4月1日～平成29年3月31日
13代	高橋章夫	平成29年4月1日～現在

発行 八千代市消防本部消防総務課

令和 2 年 7 月

〒276-0046

千葉県八千代市大和田新田186番地

電 話 047-459-2441

F A X 047-459-6232

八千代市ホームページ

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/>

